

御宿

O N J U K U

平成12年

町勢
特集号



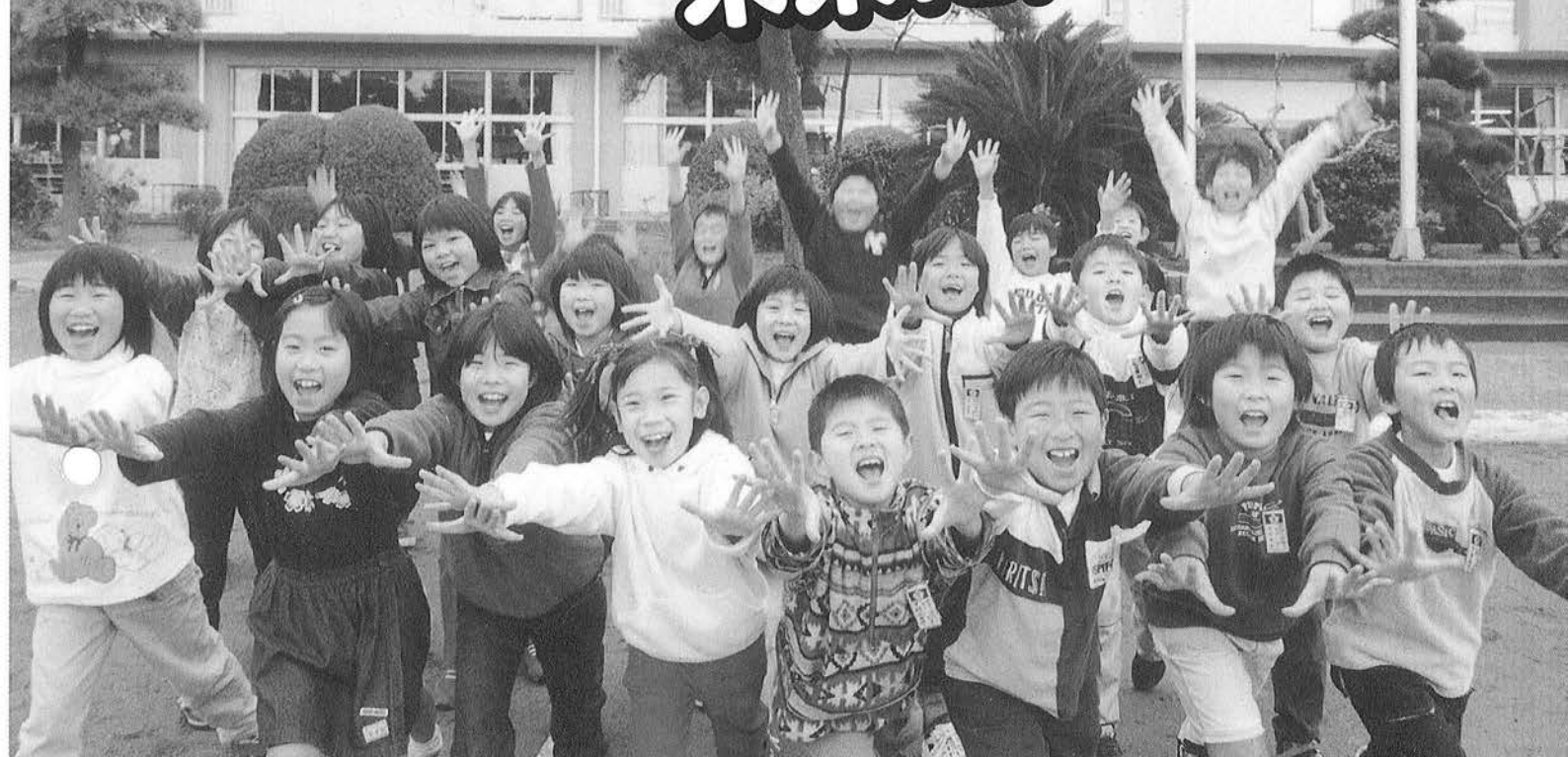
2000 第447号

千葉県御宿町役場



笑顔につつまれたまち

明るさと輝きに満ちた 未来に向かって



二十世紀の最後をかざる町特集号を発行します。
この特集号は、町政の一年間を統計調査とともに振り返り、住民の皆さんにお知らせするものです。

町では、多様化する住民ニーズに対応するため、様々な事業を展開したほか、住民の皆さんの意見や要望等を、積極的に町政に反映させるため、住民の皆さんの行政参加を推進してきました。

また、住民の皆さんに広報紙で情報を提供し、住民と町とが情報を共有できるよう、広報紙等の充実を図ってきました。

間近に迎える『新時代・二十一世紀』は、分権化時代、情報化時代ともいわれ、地域需要に応えた特色ある取組みと町民相互による情報の共有が非常に重要となります。この新時代が希望に満ちた輝かしい時代となるよう、今後も住民の皆さんと手を取り合いながら、より豊かで、より住みよい町づくりに取り組んでいきます。

目次

- 20世紀 御宿の歩み 3
- 行政 4
- 介護・保健・福祉 5
- 農林業・商工業 6
- 水産業・観光 7
- 環境・建設 8
- 教育 9~11
- 公民館・B & G海洋センター 12
- 消防・水道事業 13
- 資料編 14~31
- 御宿町暮らしのダイジェスト 32
- 御宿の歌 33
- 町内の官公署・団体施設一覧 34

20世紀 御宿町の歩み

- | | | |
|-----------------|-----|------------------------------------|
| 明治21年
(1888) | 10月 | 御宿村が誕生、
その後、大正3年4月に御宿町となる |
| 昭和30年
(1955) | 3月 | 御宿町と浪花村の一部、布施村の一部が対等合併し、新御宿町が誕生 |
| | 5月 | 岩和田・布施を統合し、新御宿消防団を結成 |
| | 12月 | 町営住宅を建設① |
| 昭和31年
(1956) | 10月 | 中学校校舎落成 |
| 昭和33年
(1958) | 11月 | 日西墨交通発祥記念碑改修工事の完了、竣工式典挙行 |
| 昭和35年
(1960) | 3月 | 町営バスの運行開始、
保育園児、小・中学生児童生徒の送迎を行う |
| 昭和39年
(1964) | 11月 | 御宿漁港竣工② |
| 昭和40年
(1965) | 4月 | 御宿中学校体育館竣工 |
| 昭和41年
(1966) | 4月 | 漁民住宅が竣工 |
| 昭和42年
(1967) | 2月 | 16年ぶりの大雪に見舞われる |
| 昭和44年
(1969) | 7月 | 月の沙漠像除幕式 |
| 昭和46年
(1971) | 9月 | 台風25号により記録的な大豪雨 |
| 昭和47年
(1972) | 7月 | 外房線電化祝賀列車運行 |
| 昭和50年
(1975) | 3月 | 御宿町歴史民俗資料館竣工 |
| 昭和53年
(1978) | 5月 | 御宿町公民館竣工 |
| | 11月 | メキシコ大統領ホセ・ロベス・ポルティエーリョ氏来町③ |
| 昭和57年
(1982) | 4月 | B & G財団御宿海洋センター竣工 |
| 昭和59年
(1984) | 12月 | 清掃センター竣工 |
| 平成元年
(1989) | 3月 | 春休みお魚ウィーク開催 |
| 平成2年
(1990) | 7月 | 月の沙漠記念像除幕式並びに月の沙漠記念館オープン |
| 平成3年
(1991) | 11月 | 地域福祉センター竣工 |
| 平成5年
(1993) | 5月 | 新庁舎、保健センターにて業務開始④ |
| 平成6年
(1994) | 7月 | 町営ウォーターパークオープン |
| 平成9年
(1997) | 4月 | 加藤まさを生誕100年記念式典 |
| 平成10年
(1998) | 4月 | パークゴルフガーデンオープン |
| | 7月 | メキシコ記念塔建立70周年記念式典 |
| 平成11年
(1999) | 4月 | 0歳児保育と小学校入学祝金の支給制度を開設 |
| | 5月 | 町単独振興券の発行 |
| 平成12年
(2000) | 4月 | 行政区として御宿台地区を設置 |
| | 12月 | 町長選挙及び町議会議員補欠選挙の執行 |



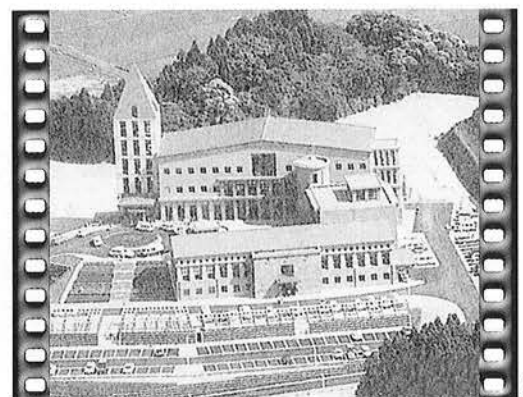
①



②



③



④

行政

住民参加による
町づくりの推進

本年四月から施行された地方分権一括法を受け、「自己決定・自己責任」の原則のもと、住民生活に直結した市町村の役割は、ますます重要になっていきます。

地方分権の流れに適確に対応し、「住民参加」と「開かれた行政」を、より一層推進するため、町では次の事業に取り組んでいます。

情報公開制度の導入

情報公開制度とは、住民参加による公正で開かれた町づく

くりを推進するため、行政の説明責任のもとに、町が保有する情報を、広く住民に公開することで、透明な行政運営を図るものです。

制度の導入にあたっては、住民代表や学識経験者十名からなる「情報公開制度策定懇話会」により、制度の目的や理念、行政情報の概念、対象となる実施機関、さらには、非公開情報の範囲、救済機関や費用といった制度の根幹となる部分について検討を重ねてきました。

また、この懇話会で検討された案は、役場と公民館において、住民の皆さんに縦覧していただき、広い視点から意見をうかがったうえで策定したものです。なお、この条例については、本年十二月定例議会にて議決いただき、平成十三年四月一日より「御宿町情報公開条例」として施行されます。

従来からの行政情報の提供に合わせ、この情報公開制度の導入により、町行政運営の公開制の向上と公正の確保を図り、町民の行政への参画促進と、より開かれた町政の実現を目指します。

制度の詳しい内容については総務課までお問い合わせください。

行政改革の推進

本年度は、「町行政改革大綱」（平成十一年度～平成十三年度）に基づく実施計画の中間年度にあたり、大綱で定めた行政改革の目標を達成し、厳しい財政状況のなか、貴重な財源をより有効に活用するため、管理職手当や時間外勤務手当をはじめとする人件費の削減に取り組んだほか、旅費、食糧費等の経常経費についても見直しを進めています。

また、地方分権化が進むなか、職員の資質向上や地域に見合った行政サービスの向上は、必要不可欠なものであり、積極的な各種研修への参加や、全職員を対象とした「勤務評定制度」を導入することによ

り、さらなる住民サービスの還元に努めていきます。

新たな行政区の誕生

本年四月、御宿台地区が、本町十番目の行政区となり、これにより町全域に行政区が組織されました。

地方分権が進むなか、各自自治体の取組はもとより、地域コミュニティの充実が強く望まれています。

今後は各地域におけるコミュニティ組織の育成に取り組み、活発な地域活動を促進します。

情報化社会への対応

町民のパソコン普及率が増加しているなか、各家庭におけるホームページの作成や、インターネットを利用した情報収集など、住民ニーズは、時代とともに多様化してきています。

町では、急速に進化する情報化社会に対する住民サービスのひとつとして、情報化時代に対応するため、平成九年度からインターネットプロバイ

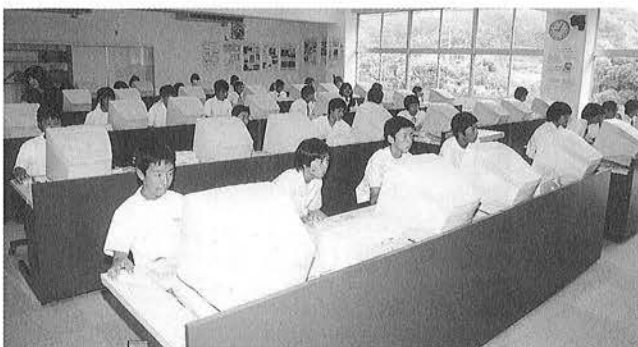
ダー事業に取り組み、現在、加入会員数は、四百五十人をこえています。

利用者は、若年層から高齢層まで幅広い方々に利用されており、今後も増加していくものと思われま

す。また、町のホームページでは、行政情報や、観光イベントの紹介などを掲載しているほか、今年度から、新たに御宿中学校のホームページが開設されるなど、充実した情報提供を図っています。



情報公開制度策定懇話会では、様々な意見をいただきました



充実した教育環境の整備を推進しています



楽しい計画が盛りだくさんのリハビリ教室

介護・保健・福祉

住民ニーズに対応した
生活支援施策の充実

介護保険

四月一日に介護保険法が施行され、要介護等の認定を受けた方々への介護サービスの提供が開始されました。

また、十月からは第一号被保険者に対し、保険料の納付も始まり、保険制度としてのしくみ全体が動き始めました。その一方で、居宅介護サービスの振替や拡大といった特別

措置が導入されるなど、早くも制度の見直し、改善が行われています。

来年以降も制度改正への対応をはじめ、保健・福祉と連携を図りながら、介護の充実に取り組んでいきます。

高齢者福祉

高齢者の福祉事業は、高齢者全般の生活を支援する目的で、きめ細かい福祉サービスの実施に努めました。

四月から、「在宅介護支援センター」を、町社会福祉協議会に設置し、高齢者全般に関する相談・支援体制の整備を行ったほか、ひとり暮らしの高齢者や高齢者夫婦のみの世帯を対象に、「緊急通報装置設置事業」を実施し、急病や緊急時において、早急に対応できる体制を強化しました。新たな事業として、介護保険の要介護認定において「自

立」と判定された高齢者に対し、要介護状態への進行を予防するため、生活管理指導員（ヘルパー）を派遣し、日常生活に関する指導や支援を行う事業を実施し、また、要介護状態の高齢者やその家族に対しては、経済的負担を軽減するため、「家族介護用品給付券支給事業」を行いました。

今後も、高齢者の皆さんが充実した生活を送っていただくよう、様々な支援事業を展開していきます。

障害者福祉

障害者福祉は、身体障害者の社会参加や生活を支援するため、様々な事業を実施してきました。

身体障害者の社会参加を目的とした従来の福祉タクシー事業に加え、「自動車運転免許取得・自動車改造費助成事業」を実施しました。生活を支援する事業としては、「ホームヘルパー派遣事業」や、「緊急通報装置設置事業」の充実を図りました。障害のある児童への「補装具及び日常生活用具の給付事

業」については、その事務が、県から町に委譲されたことにより、障害を持つ方々の支援体制を、児童から成人までの広範囲にわたって一貫したものにいたしました。

今後は、障害のある方々を取り巻く生活環境に対し、より積極的な支援事業を実施してまいります。

児童福祉

児童福祉については、少子化対策の一環として、共働き等の理由により、放課後、迎える家族のいない小学校低学年児童を対象に、児童の安全確保と働く親に対するの支援対策として、御宿児童館に放課後児童クラブを設置しました。

また、より充実した子育て支援を図るため、岩和田保育所について、御宿保育所でも時間外保育を行っています。今後は、児童福祉施設等の施設整備や事業の充実により、母親とおしの交流や子育てしやすい地域づくりを推進してまいります。

保健

各種保健事業においては、昨年の検診受診状況調査にもとづく対象者通知の徹底を図り、さらに、すべての検診の土曜日実施や、マンモグラフィ（レントゲン検査）による乳がん検診の導入により、受診者は大幅に増加しています。今後は、四十歳から六十四歳全員にコンピューター健康診査を実施し、各種検診の利用をすすめていくとともに、個別健康教育やその他の健康教室の開催など、事後指導の充実にも努めていきます。

また、就学前までを対象とした乳幼児医療費助成制度の更なる周知に努めるとともに、母親学級の定期開催にむけた内容の見直しを図るなど、育児支援の強化も図ってまいります。



1歳すぎの子どもを対象にした3種混合予防接種

農林業

活力ある農業生産に向けて

地場農産物の消費拡大

平成十二年度は、天候に恵まれ、水稲の作況指数は一〇五のやや良となりました。水稲航空防除の適期実施により、病害虫の発生も最小限

に抑え、総出荷数量における一等米の占める割合も八三・五％となりました。

転作の実施状況については、目標面積八五・六ヘクタールの割り当てに対し、一〇五％の達成見込みです。

また、転作により、不耕作となっている水田の環境保全のため、草刈作業に関するアンケートを実施しました。この結果をもとに、環境整備事業を検討します。

この他、例年実施している菜の花の植栽「花のまちづくり事業」を、御宿駅裏休耕水田において、一・九ヘクタール実施しました。三月には、黄色い菜の花畑が一面に広がります。

また、上布施地先の水田では、「ふれあい農業」として町内小学校の五年生が田植えや稲刈りを体験。十月から十一月にかけて、各小学校で収穫祭を実施し、自分で刈り取

ったお米でおもちを作り味わいました。

地場農産物の流通については、花き生産組合員等が中心となって、毎週、金・土・日の三日間、月の沙漠記念館で農産物の販売を行っており、収穫したてのみずみずしさと低価格が好評です。

また、平成十二年三月には、練馬区光が丘郵便局にて、野沢温泉村との共催による、「ふるさと物産展」を開催しました。スプレーストックや食用菜花に加え、水産加工品等の販売を行い、御宿ならではの様々な物産の宣伝活動を行いました。

畜産業については、公社牧場設置事業により、畜産環境問題に配慮しつつ、飼料作物の生産基盤の拡大による、安定した畜産所得の向上を図ります。

農村地域の生活環境整備を

中山間総合整備事業

中山間総合整備事業は、農地の基盤整備に合わせ、農村の生活環境に関する整備を一

体で行う事業です。

整備が、実施されていない地区では、農地へ直接進入するための農道がなかったり、用排水路が整っていないなど、整備済の地区に比べて、農業の効率が低くなっています。

今後の農業経営の改善のためには、農作業等の集約化によって、生産コストの低減を図ることのできる、作業効率の高い生産基盤の整備が必要です。

事業の実施にあたっては、地区説明会等を開催して、地域の実情や要望、実施に対する意向などを把握し、事業計画の検討を行います。

林道・治山

林道・治山事業は、災害復旧事業として、向井線、実谷線を、機能管理事業として、丸山線の草刈や芝谷線の舗装工事を実施します。

また、松喰虫被害木の処理については、住民の皆さんの要望により、現地調査を進め、順次、処理を行います。

商工業

**新しい試み
「パラソルマーケット」
を開催**

を



商工会青年部により実施されたパラソルマーケット 特色あるビーチ文化に取組みました

月の沙漠記念館前広場で、商工会青年部が主体となって、パラソルマーケットが開催され、七月、八月の土・日曜日を中心に、メキシカンフードやTシャツ、小物類などの様々な販売が行われました。パラソルマーケットは、通商産業局の小規模事業経営支援事業補助により実施したもので、今後の展開が期待される新たな販売形態といえます。また、本年も、商工会から地元消費の活性化のため、

「プレミア付き商品券」が発売されました。一割分お得なこの商品券は、七月三日から八月一日までの期間、六万枚を販売しました。

百貨店で開催された、「房総の大物産展」に海藻入りそばを出品し、商品の宣伝や販売を行いました。現在、月の沙漠記念館等で、アイス及びそばの販売を行っています。

水産業

豊かな磯根を目指して

継続的な種苗放流の実施

平成十二年は、カツオやイセエビ漁が好調な一方、ヒラメ・ヒラマサなどの釣り漁や、アワビ・サザエの採貝漁の水揚げが減少しました。前年に比べ、水揚げ高は増加したものの、市場価格の低迷により、水揚げ金額は減少しました。

磯根漁業における漁獲を確保するために、本年も御宿漁協と岩和田漁協において、総量で五百キログラムのアワビの種苗を放流しました。この放流事業は、昭和三十八年頃から実施され、当時は七百五十個を一万二千円の事業費で実施した記録も残っています。継続して実施することにより、

放流効果を高めるとともに、磯根資源の保全を目指しています。アワビの他に、サザエ、イセエビの再放流を実施し、資源の保全に努めています。

釣り漁業の中心となる魚種であるヒラメは、郡内の漁協や町で組織する、「夷隅地域栽培漁業推進協議会」が中心となって、稚魚の放流事業を進めています。本年も体長七センチメートルほどの稚魚三万匹が網代湾周辺で放流されました。

また、登録漁船数が減少する中で、年々、漁船の大型化が進んでいます。これにと

ない、漁港を安全に利用できないよう、昨年度に引き続き、御宿・岩和田漁港の浚渫工事を実施しました。

また、岩和田漁港においては、西側の防波堤に消波ブロックを設置し、荒天時の港内への波の侵入を防ぎ、停泊漁船の安全を確保しています。

このほか、漁業近代化資金利子補給事業や、漁獲共済事業に対する補助を実施し、漁業者の経営の安定化を図っています。

観光

おんじゅくイベントタジーニ1000の開催

地域の特性を活かした観光施策

今年の夏期シーズンの海水浴客の入り込みにおいては、七月上旬に発生した台風の影響があったものの、七月後半から晴天に恵まれたこと等により、たくさんの人々が訪れ、御宿の夏を満喫していました。

また、今年も、御宿ファンタジー2000として、従来のイベントに加え、御宿の特



御宿の美しい海岸では、毎年多くの人で賑わいます

ました。その作品の中から最優秀、優秀、奨励賞を選定し、月の沙漠記念館で作品展を行いました。

また、海産物を利用した「おんじゅく伊勢えび祭り」では、オーブンングイイベントとして、月の沙漠記念館広場で伊勢えびご膳(二〇〇食)やえび汁、パラソルマーケット等による物産販売を行ったほか、ステージ場では、伊勢えび等の賞品が当たるゲームを実施し、たくさんの人で賑わいました。

今年も、海岸美化事業として、「ピッカピカビーチ大作戦」を行い、住民の皆さんをはじめ、各種団体や学校、サーファー団体の協力を得て、海岸清掃に取組みました。

今後においても、御宿の自然を活かした事業を展開するとともに、充実した観光施設整備に取り組んでいきます。

性を活かした様々な事業を展開しました。月の沙漠記念館が開館十周年を迎えたことから、童謡『月の沙漠』の歌詞のなかにある「二人はどこへゆくのでしよう」という王子と姫の行く末を、自由な発想で作品にする記念事業を行い、日本各地より一〇七点の応募があり

環境

限られた資源を
有効的に活用



夏期シーズンは、毎日、海岸清掃を行い、訪れた人々に美しい海岸を提供しました

限りある資源を有効活用するため、今年も住民の皆さんのご協力を得ながら、ゴミの減量化をはじめ、リサイクル等の事業を展開してきました。家庭内におけるゴミの分別についても、確実に成果があらがっています。

観光客が多く訪れる夏期シーズンにおいては、海岸内の清掃を強化しているほか、各公共施設等の美化活動についても積極的に行っています。各小学校では、環境教育の一環として、清掃センターの見学や、ゴミの分別体験学習等を行っており、子どもたちの環境に対する意識は、高まりをみせています。

平成十四年十二月からダイオキシン排出基準が強化されるなか、ごみ焼却施設については、将来の広域化施設を前提に、当面、町の施設を改造して対応する方針です。

建設

地域に密着した
生活関連事業の展開



町道0202号線の早期着工に向け、基礎調査を行っています

平成十一年度を初年度とした第五次御宿町実施計画を基に、住民と密接な生活基盤整備を重点に置き、各区の土木委員と協議しながら、効率的な事業を実施しています。

今年度の主要事業といたしましては、継続事業である0109号線（リゾート関連道路）改良工事や、ようやく本年度完成する0105号線道路改良工事、さらに、非常に急カーブで危険な状態であった0106号線道路改良工事があげられます。

また、町営住宅の適正な管理と住宅環境整備を実施します。

町単独事業については、生活排水施設整備（七箇所）や、舗装面の痛みの激しい道路（六箇所）を整備しました。

長期計画としては、将来御宿町の主要幹線道路となる、0202号線（中学校脇）道路改良工事の早期着工に向けた基礎調査を行い、関係機関と調整を行ってまいります。

その他、県事業としては、県道夷隅御宿線（役場入り口）の歩道整備を行うほか、住民の生命財産を守る急傾斜地崩壊対策事業として、本年度から岩和田地区に着手してまいります。

また、未整備箇所についても引き続き要望してまいりますので、地域住民の皆さんや地権者の皆さんの御協力をお願いします。

教育

二十一世紀を担う児童生徒の育成と充実した生涯教育

教育委員会では、毎年度教育行政の基本方針を定め、その方針に基づいた次の教育目標にそって各種施策を推進してきました。

◎二十世紀を担う児童の「生きる力」を育み、心豊かなたくましい人間性を育成する学校教育を推進する。

◎町民一人ひとりが生涯を通して、いつでも学習できる生涯教育を目指し、その環境や内容の充実を図り、香り高い町民文化の創造と発展に努める。

学校施設整備の充実

学校建設基金の設置

学校教育では、小・中学校へインターネットの専用電話回線を接続し、情報教育機器をより効果的に活用するため

に、情報教育の環境づくりに取り組みました。学校での有効な活用が図られるよう技術支援や先生方の研修などの支援体制の充実を図ってきました。

また、国際理解教育として、外国青年（英語指導助手）招致事業や中学生の海外派遣事業を継続実施したほか、地域や家庭との連携を深めるふれあい給食や親子ふれあい音楽鑑賞会などを開設し、地域に根ざした開かれた学校の実現に取り組んできました。

国の調査研究事業としては、「心の教室」に相談員を配置し、公民館においては、家庭教育相談の開設など相談しやすい環境づくりに取り組んだほか、より充実した環境づくりとして、地域と学校で教育を考える「ミニ集会」を開催し、教育に対する積極的な意見が出されました。

また、継続事業として、文

部省より環境教育モデル市町村として指定を受け、各学校（高校含む）や地域が一体となって、環境教育事業を進めています。

さらに、子どもの成長を支援するため、今年度も引き続き、小学校入学祝金（児童一名につき三万円）を支給しました。

学校施設整備の充実については、今年度より中学校建設のための財源確保として、建設基金を設置し、耐力度調査や用地測量調査、先進地の学校施設の視察等を踏まえ、学校建設に向けて検討を進めています。



子どもたちの教育について、学校や家庭地域で考えるミニ集会を開催しました

また、現場、地域の意見等を十分に考慮し、基本計画の策定などを進め、早期事業の具体化に努めます。その期間においては、各学校とも児童生徒の安全面に配慮し、適切な施設改修工事を実施します。

完全学校週五日制に向けての社会教育の推進（社会教育）

町民の皆さん一人ひとりが、いつでも誰でも学ぶことができる生涯学習を目指し、「親



町民カレッジでは、健康実践講座を開催しました

子参加型の講座」や「町民カレッジ」の開設、また、パソコンを使用して、県内の生涯学習の情報提供が可能となるシステムの稼働など社会教育の充実に向けてきました。

「町民カレッジ」は、幅広い年齢層が参加できるよう教養講座の開設や救急法など、身近な講習会を開催し、アンケート調査を行うことで、より親しまれる内容で実施していく方向です。

文化財保護事業は、ミヤコタナゴを布施小学校と役場で展示・飼育を開始しています。また、文化財審議委員会の協力を得て、町内史跡巡りの開催や神楽ばやし等のビデオ保存を進めてきました。

教育

様々な体験型事業を実施

平成十四年度からは、完全週五日制が実施されることから、「子ども地域活動促進事業」として、子どもたちが土曜日や日曜日を有意義に過ごせるような様々な事業を行います。

また、体育指導委員によるパークゴルフ教室や親子軽スポーツ教室、親子水泳教室など、親と子どものふれあい事業の充実を図っていきます。さらに、今年度より新規事業として、中学校二年生を対象とした三日間の社会体験学



社会体験学習では、様々な分野で、事業所の皆さんにご協力をいただきました

習モデル事業を実施しました。そのほか、小学校五年生から中学校三年生を対象に、五泊六日で生活・自然・社会体験といった様々な体験を行うフロンティア アドベンチャー事業を実施しました。体験型の行事については積極的に計画していきます。

今後も、皆さんのより積極的なご意見やご希望を社会教育・社会体育事業に取り入れ、公民館との連携を図りながら実施していきます。

御宿小学校

本年度は、「心身ともに健康で豊かな人間性を備え、想像力と実行力のある児童の育成を図る。」という教育目標を掲げ、児童の興味・関心、地域の特性、それぞれの教科科目との関連を基に、全教職員が共通の意識をもって教育目標達成に努めています。「学校って楽しいね」子ども一人一人の言葉として、教育活動を推進しています。

○ 具体的な取り組みとして

◆ 交流活動

・ 校内交流

異学年交流を積極的に進め、縦割り学年での運動会、地域住民を招待しての触れ合い給食、高齢者との触れ合い学級などを開催しています。

・ 国吉小学校との海山交流

それぞれの町を紹介したり、他校の子ども達と一緒に体験活動を行うことにより、お互いに親睦を図っています。

どの内容も子ども達が主体で「来年は、もっと工夫しよう」と意欲的な子どもが数多く見られました。

◆ 異文化理解

・ 御宿っ子触れ合い教室

外国人留学生と、日本の遊びを一緒に楽しんだり、異文化に触れることで、お互いの国の良さに気づき、親しみを持つことができました。

・ 各学級を回るALT

隔週の金曜日に、外国語指導助手であるセーラさんの授業を行い、子ども達のやりたいことを中心に活動計画をたてて取り組んでいます。

◆ 野外活動体験学習

・ 生涯学習体験学習

自然の中で活動することの楽しさを、他校の児童と仲良く体験しました。

・ 地球に流れる川から学ぶ

浮草の観察・米作り・水中の微生物を観察し、様々なものを発見します。

地域の人・自然・環境に関心を持つことで、自然を大切にしようとする心が育ちつつあります。

◆ 愛護会(P.T.A.)と協力

電気について親子で体験電子メロディを、友達やお母さんと聞き合うことで、親



地域の方々から学んだ竹てっぽう作り

子の絆を深めることができました。

・ 親子で講演をきく

親子で講演をきくことにより、人と人との関わりのおもしろさや家庭における親子の交流を深めました。

さらにこうした活動を通して、子ども一人一人の「学校って楽しいな」のことが大切にしなが、地域と学校が連携して活動を重ねていきたいと思います。

岩田小学校

本校では、「ひろい心、じょうぶな体、ひろがる夢」という学校教育目標の具現化に

向けて、学校長を中心に職員が丸となって、日常の教育実践に努めています。

① 読書指導の充実

「本は心の栄養」を合言葉に、昨年度から継続して読書指導に力を入れています。本を十冊読むとミニ賞状をもらえることが励みとなって、学校だけでなく、家庭でも進んで読書に親しむ子どもが増えています。

② 総合的な学習の実践

子どもたちの「生きる力」を育成するために、平成十四年度から総合的な学習の時間がスタートします。それに向けて、三年前から岩和田という地域の特性や人材を生かした活動を積極的に展開しています。今年は、郷土料理やピオトープ、ホームページ作りなどに挑戦しています。

③ T・T（ティームティーチング）の実施

一人一人の子どもに目を向けた学習を展開するために、T・Tの補助教員を招いたり、職員間で授業時数を調整した

りして、様々な教科でT・Tを導入しています。子どもは、未知の可能性を秘めた存在です。そのよさを見つけて、伸ばしてあげることに全力を注いでいます。

本校の教育の一端を紹介させて戴きました。これからも、「子どもは未来からの留学生」という視点に立って、次世紀を担う子どもの育成に努めていきたいと思えます。

布施小学校

布施小学校では、「新しい時代を担う、健康で知性と徳性を備えた人間性豊かな児童の育成を目指す。」という教育目標を掲げ、全教育活動を通して、その目標達成に努めています。

○ 小さな子どもになろう。

○ たくましい子

○ 思いやりのある子

○ よく考える子

○ 元気にあいさつ

○ 今日も元気で

等を合言葉として、日々の教育実践を推進しています。

平成十一年度より三年間、

千葉県教育委員会より、学校体育の指定を受け、一年目は、児童の変容をとらえるための実態調査と理論研究。二年目の今年度は、「体ほぐし運動」を取り上げ、心と体の一体化をねらい、教材開発や合同体育の充実を図っています。

また、学校保健委員会は、発足以来二十年目を迎え歴史と伝統ある活動を行ってまい

今年から、「心の健康」をテーマとして、家族の人とすこやか日記及びカード等を記入しています。

それが、子どもを理解する手がかりとなっています。

今後とも、家庭や地域・学校との連携を図りながら、すこやかな心と体の育成を目指します。

御宿中学校

御宿中学校では、「新しい時代を担う、健康で知性と徳性を備えた人間性豊かな生徒の育成」を教育目標に掲げ、次の三点を求める生徒像として活動を進めています。

① 気配りのできる、思いやりのある生徒（徳）

② 学ぶ意欲を持ち、考え、正しく判断できる生徒（知）

③ 健康でたくましく、生き生きと生活できる生徒（体）

昨年度に引き続き、県から「夢を育む教育推進地域」の指定、文部省から「環境教育モデル推進市町村」の指定を、さらに本年度は県から「中学生社会体験学習モデル事業」の指定を受け、日々の授業を大切にしながら実践活動を図ってきました。

「夢を育む教育」では、学校外から多彩な講師を招聘し、豊かな教育活動を展開してき

ました。シニア体験教室、国際武道大学生との国際理解教室、ゆかた着つけ教室、オペラ教室、池谷幸雄講演会等を開催しました。

「環境教育」では、恒例の海岸清掃、リサイクル活動、浅間山祭礼ボランティア活動等に加え、教科の特性を生かした環境教育を実践しました。「社会体験学習」では、2年生が、町のさまざまな事業所で貴重な職業体験をしました。学校では学ぶことができない、仕事の大切さや勤労の喜び、社会の規律やマナーの大切さを、人々とのふれあいの中から感じ取ることができました。将来の職業観や生き方を育む上でも貴重な体験でした。

このような学習面での活動と共に、運動面でも活発な活動を展開しております。陸上競技や卓球部は県大会に出場することができました。

今後も、一人一人の可能性を伸ばす活動、地域に根ざした活動、世界を見つめる活動を推進し、徳・知・体のバランスの取れた生徒の育成を目指してまいります。



環境教育の一環として、継続的に海岸清掃を実施しています

公民館

住民参加を基に
積極的な事業を推進

公民館では、住民の皆さんが、より積極的に充実した活動を行えるよう、公民館の運営方針を次のように設定しました。

○主催教室・主催事業、及び自主グループの定例活動を広く町民に開放し、住民参加の公民活動を推進する。

○青少年対象の事業を新規に取入れ、学校週五日制に対応した社会教育のあり方を試行する

○関係機関や諸団体との連携を密にして、効率的な公民館運営に努める。

このような方針のもと、今年度は、新規事業を次のように開設しました。

【手話教室】

小学生からお年寄りまで、幅広い年齢層のなか、身体表現によるコミュニケーション

の楽しさを味わうことができます。

【青少年将棋教室】

この教室には、小学生が、将棋のコマを動かして、真剣なまなざしで対局している小さな棋士の姿があります。

【夏休み科学教室】

子どもの理科ばなれといわれていますが、たくさん子どもたちが、様々な実験に組みましました。



夏休みを利用して科学教室を開催しました

【夏休み工作教室】

工作の好きな小学生が、カッターや糸のこぎりを使って模型飛行機づくり挑戦しました。

また、自主グループは、新たに生花アートと黒潮太鼓、御宿童謡を歌う会が発足しました。住民の熱い要望で立ち上がったこれらのグループの今後の発展を、公民館が適切な援助をしていく事の必要性を強く感じています。

スポーツ振興の面では、各競技団体との連携によって、多くの大会が開催されました。春・秋野球大会や弓道大会、バレーボール大会、テニス大会、卓球大会などは恒例となつていきます。年を追うごとに活発になってきましたが、生涯スポーツの実践という観点から、多彩なメニューの提供が要求されるのではないかと考えられます。

公民館が住民の要望と時代のニーズに応じて、生涯学習及び社会教育の拠点として実質的に機能するよう運営していきたいと考えます。

B&G海洋センター

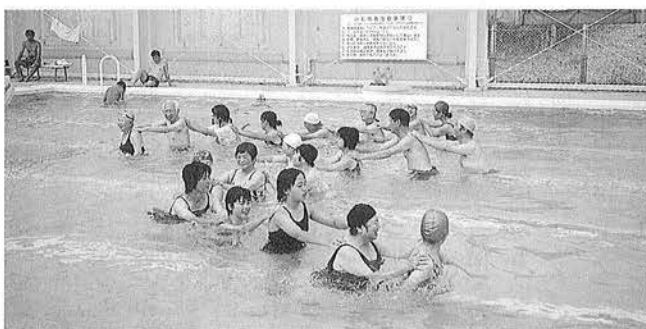
楽しく健康づくり
健康づくり教室の充実

海洋センターでは、体育館やプール、トレーニングルームなどを活用して、幼児から中高年の方々まで、様々な健康運動プログラムを展開しています。

幼児や児童を対象とした「リズム体操教室」や「ジュニアスポーツ教室」では、子どもたちの身体的特性に合わせて、楽しみながらリズム感の習得や、運動神経系の向上を主な目的として実施しています。

一般成人の方々には、音楽に乗って運動するエアロビクス体操や、アクアビクス、ストレッチ、筋肉のコンディショニングを高めるための運動といった「健康運動教室」を実施しています。

これらの教室は、定期的に適切な運動を行うことで、楽しく、健康の維持・増進を図ることが出来るものです。そのほか、スポーツコミュニ



健康運動教室であるアクアビクスでは、適度な運動が好評です

ニティーの場として、海洋センターをはじめ、野球場、テニス場、パークゴルフ場など、気の合う仲間と気軽に利用できる施設が充実しています。

消防

地域ぐるみの防災体制を

災害に強い町づくり

御宿町消防団は、一本部、八分団で構成され、二四五名の消防団員から組織されています。町民の皆さんの生命・財産を守るため、月二回の試

新町区に設置します。また、浜区に自主防災組織が発足し、災害発生時の初期活動体制の充実と、地域ぐる

種の訓練、また、火災の発生しやすい時期である歳末の夜警、花火大会や渚の火祭りなど町の実施するイベント等の警備などを行ってき

ました。本年度、防災・防火の地域の拠点づくりとして上布

今年度は、浜地区に自主防災組織が発足しました。今後も、継続的に自主防災組織の育成に努めます。



今年度は、浜地区に自主防災組織が発足しました。今後も、継続的に自主防災組織の育成に努めます。

みの防災体制の強化を図ることができました。こうした住民の皆さんで組織する自主防災組織に対し、消火器やトランシーバー等の防災資機材を交付しています。

防災施設の整備としては、日本宝くじ協会の事業を活用して、避難場所の位置図看板や避難誘導標識を設置しました。

さて、皆さんのお宅の防災行政無線戸別受信機には、災害等で避難される際、コンセントを抜いても町からの情報が聞けるよう、乾電池（単二形四本）が後ろに入っています。一年に一回位この電池を取り替えないと、いざというとき情報が聞けないばかりでなく、乾電池の液もれにより受信機の故障につながります。大掃除のついでに乾電池を取り替えるよう心がけましょう。

水道

安全で安定した給水を

平成十一年度は、公営企業の基本原則に基づき、適正かつ効率的経営と安定給水に努めるとともに、経営改善及び合理化を徹底し、事業を推進してきました。

また、水道施設である各機器の点検、整備を実施し、老朽化したものや損耗の著しい機器の交換を行うとともに、安全で安定した給水を図っています。

今年も、住民の生活向上と環境衛生に則した上水道施設の安定かつ安心した水量の確保と配水を目的とした第三次拡張事業を行い、市街地へのダブル配管による配水管布設工事により、大地震等の防災対策としての耐震性の向上と低水圧地域の解消を図りました。

また、須賀地域の加入者促進に伴う配水管布設工事も完成いたしました。

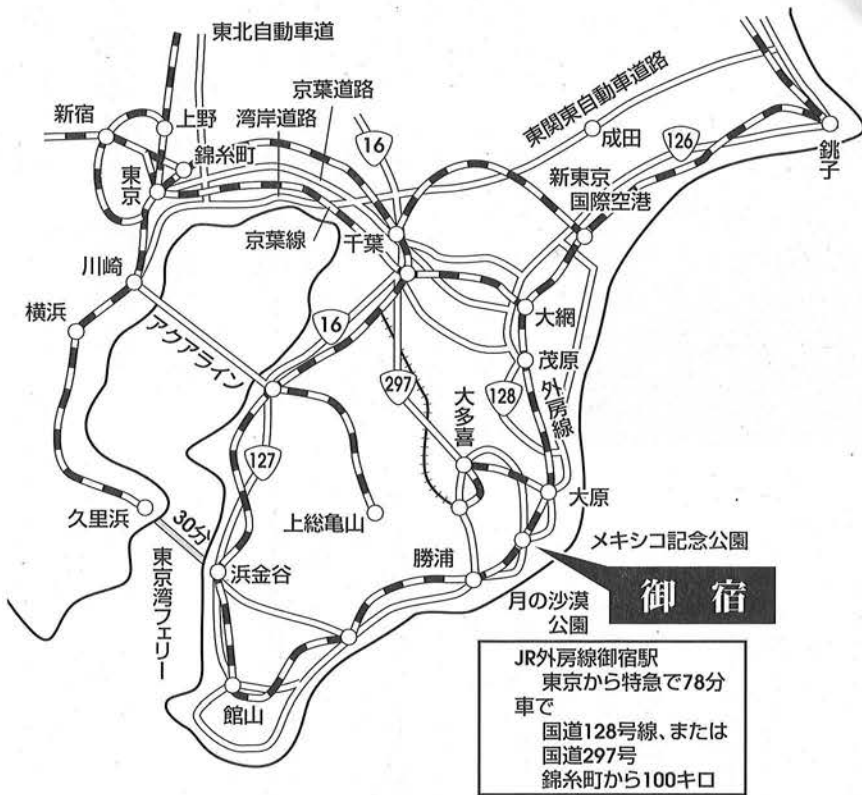
九月末から十月にかけての異常小雨に伴い、御宿ダムの貯水率が二十％を割込む渇水状態となりました。

しかし、南房総広域水道企業団からの受水により対処し、給水制限等の緊急事態を避け

平成十二年十月末現在の給水戸数及び給水人口は、昨年十月末と比較して、八十九戸増の三千二百二十六戸、給水人口は百六十三人増の七千八百八十人となりました。しかしながら、長引く景気低迷の影響を受け総収益は三・五％の増加に対し、総費用は五・二％の増加となっています。今後も、一層の加入促進・経営改善及び合理化を徹底し、施設の有効利用を図りながらきれいで、安定した水の給水に努めていきます。

数字で見る おんじゅくのすがた

資料編

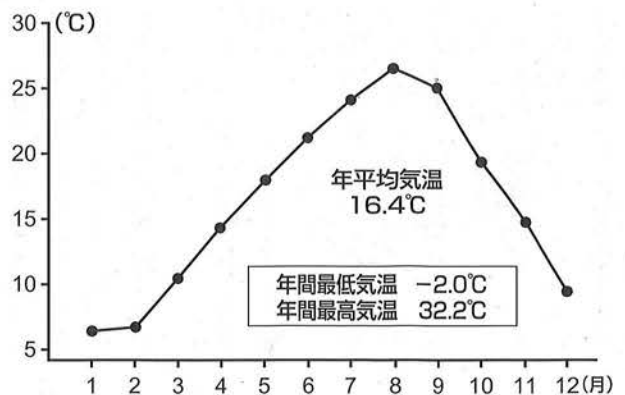


- 沿革……明治22年町村制の施行により、御宿郷の須賀村、浜村、高山田村、久保村の4部落がまとまり、御宿村ができた。その後、大正3年御宿町と改称。昭和30年町村合併で布施村の一部と浪花村岩和田地区を合併して現在の御宿町となった。
- 位置……御宿町は千葉県東南部、房総半島中央部東端に位置し、首都東京から75kmの南東方向。東経140度21分10秒。北緯35度11分20秒の地点にある。
- 面積……24.92km²

■年別気温・降雨量

年	平均	最高	最低	降雨量
40	14.9℃	31.6℃	-4.8℃	1639.5mm
50	15.0	31.2	-2.4	1969.0
60	15.3	31.3	-3.2	1799.0
〃 10年	16.2	31.8	-3.6	2027.5
〃 11年	16.4	32.2	-2.0	1627.0

■平成11年の平均気温



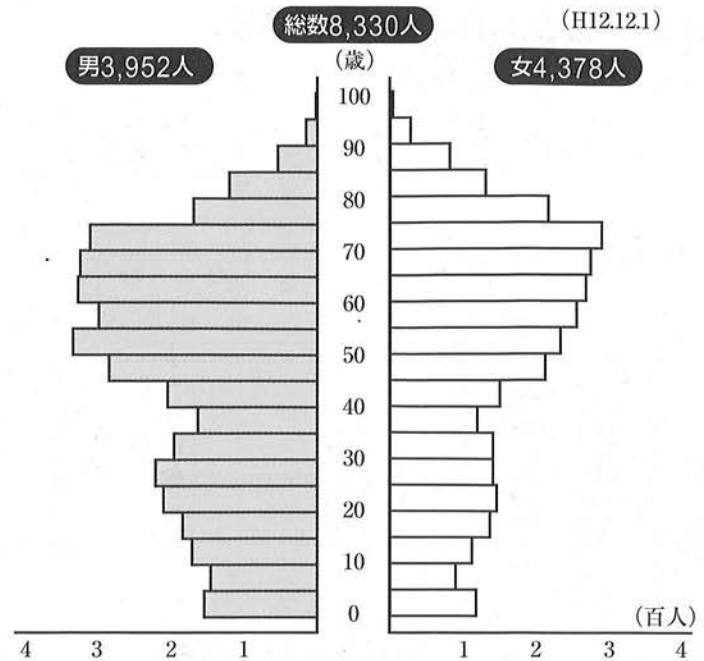
■平成11年の月別気温・降雨量

区分 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平均気温 (℃)	6.8	6.9	10.5	14.3	18.0	21.1	23.9	26.8	25.0	19.3	14.8	9.5
最高気温 (℃)	16.3	18.6	19.2	21.7	24.8	27.6	30.6	32.2	31.5	28.0	24.8	18.9
最低気温 (℃)	-1.1	-2.0	1.8	4.4	8.0	14.6	16.3	23.5	18.3	11.8	6.8	0.1
降雨量 (mm)	24.0	104.0	302.0	330.0	123.5	90.5	149.5	43.0	89.0	215.5	137.5	18.5

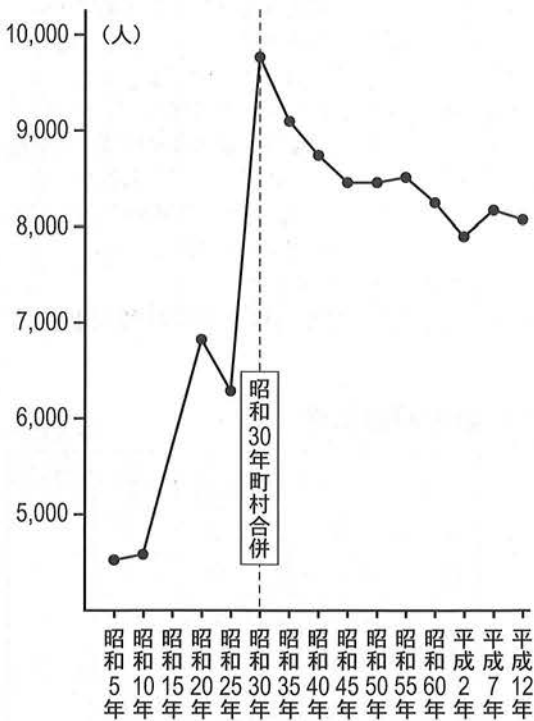
■行政区別世帯数と人口 (住民基本台帳) (H12.12.1)

区 分	世帯数	人 口		
		男	女	計
須 賀	357	430	445	875
浜	267	359	394	753
高 山 田	96	136	150	286
久 保	471	547	668	1,215
新 町	497	609	710	1,319
六 軒 町	233	311	314	625
岩 和 田	456	665	708	1,373
実谷七本	148	247	254	501
上 布 施	231	333	350	683
御 宿 台	377	315	385	700
合 計	3,133	3,952	4,378	8,330

■5歳階級別人口 (住民基本台帳)



■人口の動き (国勢調査)



■人口の推移 (国勢調査)

年 次	世帯数	人 口			1世帯平均人員	人口密度人/km ²
		総 数	男	女		
昭和 5	1,022	4,611	2,153	2,458	4.5	468
10	1,016	4,798	2,197	2,601	4.7	487
20	1,196	6,829	3,197	3,632	5.7	693
25	1,307	6,195	2,816	3,379	4.7	629
30	2,022	9,753	4,519	5,234	4.8	389
35	2,047	9,273	4,313	4,960	4.5	370
40	2,068	8,815	4,053	4,762	4.3	352
45	2,136	8,475	3,853	4,617	4.0	338
50	2,263	8,484	3,960	4,524	3.7	339
55	2,432	8,486	4,027	4,459	3.4	339
60	2,452	8,267	3,948	4,319	3.4	330
平成 2	2,469	7,939	3,763	4,176	3.2	317
7	2,659	8,129	3,850	4,279	3.0	326
12	2,833	8,020	3,777	4,243	2.8	322

■人口動態

(H11.1.1~H11.12.31)

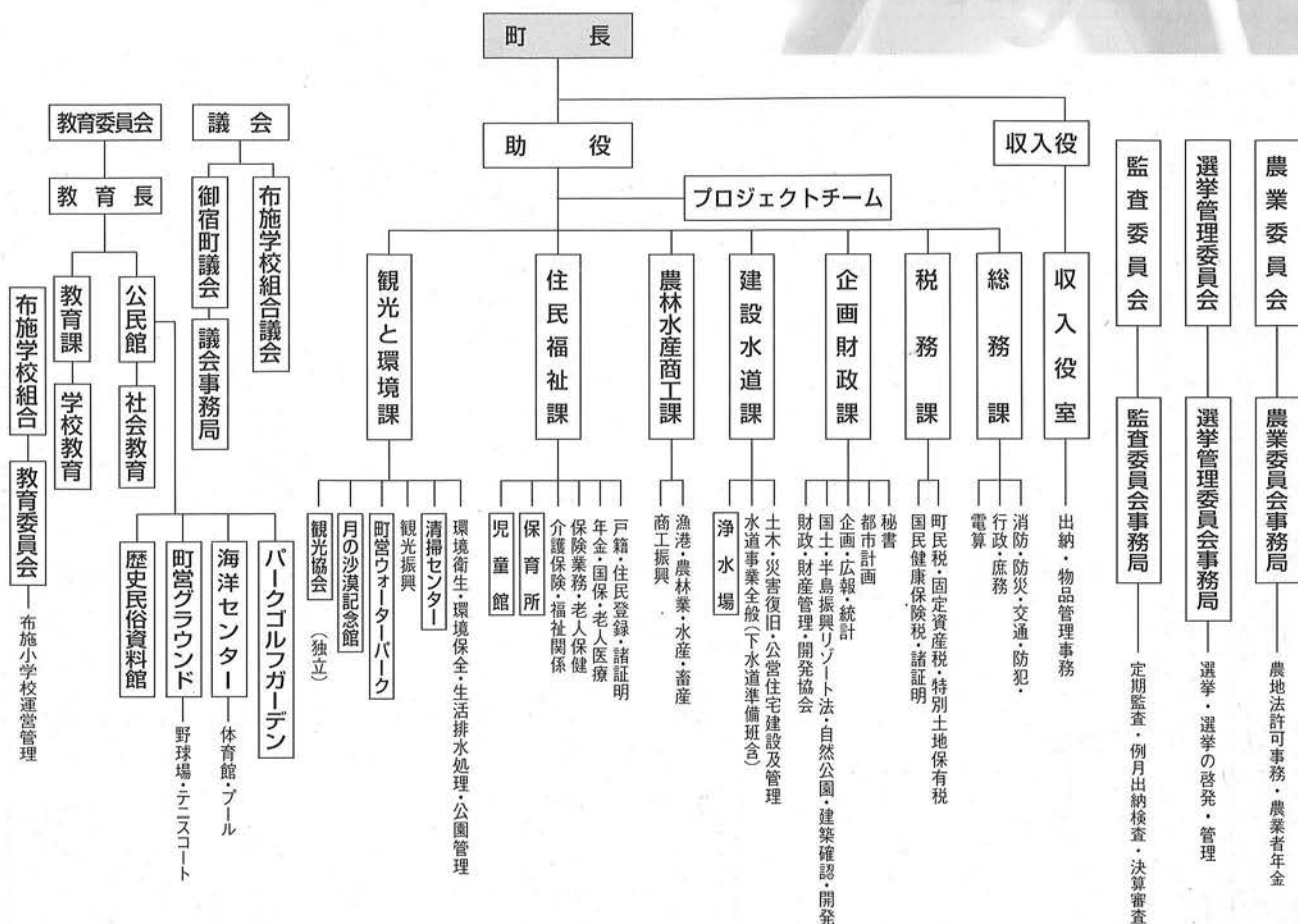
年 度	自 然 動 態						社 会 動 態		
	出生	死亡	自然増減 出生・死亡	死産	婚姻	離婚	転入	転出	社会増減
昭和50	114	94	20	9	208	13	322	379	▲ 57
60	60	81	△21	4	45	8	319	351	▲ 32
平成8年	44	82	△38	4	32	10	305	351	▲ 46
9	49	89	△40	0	36	14	366	341	25
10	62	120	△58	4	50	8	380	315	65
11	52	133	△81	1	23	10	373	319	54



機構・組織（行政・議会）図



行政・議会



議会

●議員定数14人(法定数22人)

●常任委員会

総務常任委員会 (3)

産業建設常任委員会 (5)

教育民生常任委員会 (4) ()内委員数

議会の開催状況

区分 年次	定例会				臨時会				請陳件	願情数
	回数	会期	町長提案 議員提案	議員提案	回数	会期	町長提案 議員提案	議員提案		
3	4	10	56	3	5	5	8	0	6	
4	4	11	53	6	1	1	2	0	1	
5	4	11	44	8	2	2	2	0	2	
6	4	10	55	7	4	4	7	0	16	
7	4	10	39	5	2	2	13	0	10	
8	4	11	42	6	1	1	3	0	23	
9	4	11	38	10	1	1	3	0	26	
10	4	6	40	3	0	0	0	0	10	
11	4	5	56	5	2	2	9	0	6	

課別職員数

(H12.12.1)

課室名	職員数		
	総数	男	女
収入役室	2	1	1
総務課	12	8	4
企画財政課	11	10	1
農林水産商工課	5	5	0
税務課	8	5	3
建設水道課	10	8	2
観光と環境課	12	11	1
住民福祉課	16	5	11
議会事務局	3	2	1
教育委員会	4	3	1
公民館	6	5	1
保育所	18	0	18
調理場	5	0	5
合計	112	63	49
社会福祉協議会	8	3	5

■歴代議長（町村合併後） (H12.12.1)

氏名	就任年月日	退任年月日
吉野 要	昭和30.3.31	昭和32.9.30
浅野 航海	" 32.10.1	" 34.9.30
新井 清治	" 34.10.1	" 40.9.30
関 龍雄	" 40.10.1	" 44.9.30
中村 喜一	" 44.10.11	" 48.10.31
江沢 富士松	" 48.12.4	" 50.9.30
岩崎 栄一郎	" 50.10.1	" 54.9.30
石田 行雄	" 54.10.1	" 56.9.30
井上 泰爾	" 56.10.1	" 58.9.30
井上 浩一	" 58.10.1	" 60.3.12
白鳥 時雄	" 60.4.16	" 62.9.30
関野 正治	" 62.10.1	平成元年9.21
佐藤 高二	平成元年9.21	" 3.9.30
君塚 秀雄	" 3.10.1	" 5.9.21
岡村 甲純	" 5.9.21	" 7.9.30
鶴岡 清二	" 7.10.1	" 9.9.18
貝塚 貞利	" 9.9.18	" 10.9.17
君塚 亮一	" 10.9.17	" 10.9.30
貝塚 嘉軼	" 11.10.7	在任中

■投票区別有権者数 (11年9月現在)

区分	地区	計	男	女
第1投票区	久保・新町・六軒町	2,661	1,214	1,447
第2投票区	須賀・浜・高山田	1,628	784	844
第3投票区	岩和田	1,151	543	608
第4投票区	上布施	589	276	313
第5投票区	実谷・七本	417	201	216
第6投票区	御宿台	660	293	367
総数		7,106	3,311	3,795

■最近の選挙における投票状況

選挙名	執行年月日	当日有権者数			投票者数			投票率(%)		
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
小選挙区選出議員選挙	H 8.10.20	7,003	3,265	3,738	4,412	2,039	2,373	63.00	62.45	63.48
比例代表区 "	"	7,003	3,265	3,738	4,409	2,037	2,372	62.96	62.39	63.46
最高裁国民審査	"	7,003	3,265	3,738	4,319	1,994	2,325	61.67	61.07	62.20
県知事選挙	H 9.3.16	6,935	3,242	3,693	3,268	1,496	1,772	47.12	46.14	47.98
町長 "	H10.3.1	6,976	3,265	3,711	2,619	3,027	5,646	80.93	80.21	81.51
参議院議員 "	H10.7.12	7,035	3,300	3,735	3,960	1,858	2,102	56.29	56.30	56.28
県議会議員 "	H11.4.11	6,949	3,249	3,700	4,373	2,055	2,318	62.93	63.25	62.65
町議会議員 "	H11.9.19	7,011	3,283	3,728	6,045	2,823	3,222	86.22	85.99	86.43
小選挙区選出議員選挙	H12.6.25	7,071	3,302	3,769	4,560	2,123	2,437	64.49	64.29	64.66
比例代表区 "	"	7,074	3,304	3,770	4,557	2,124	2,433	64.42	64.29	64.54
最高裁国民審査	"	7,071	3,302	3,769	4,471	2,086	2,385	63.23	63.17	63.28

■歴代町長 (H12.12.1)

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
町長職務(執行者)	大地 重直	昭和30.3.31	昭和30.5.15
1	井上 文吉	" 30.5.16	" 42.5.14
2	岩井 敏夫	" 42.5.15	" 54.5.14
3	高梨 秀治	" 54.5.15	" 62.5.14
4	滝口 栄蔵	" 62.5.15	平成 6.1.25
5	伊藤 治昌	平成 6.3.13	" 10.3.12
6	加藤 長	" 10.3.13	" 12.11.24

■歴代助役 (H12.12.1)

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	相原 誠三郎	昭和30.10.18	昭和 38.10.17
2	岩井 敏夫	" 39.1.10	" 42.4.17
3	佐藤 清司	" 42.12.20	" 45.10.31
4	浅野 興典	" 47.4.1	" 54.5.14
5	池田 覚道	" 55.3.1	" 62.5.14
6	大谷 良司	" 62.6.15	平成 7.6.14
7	加藤 長	平成 7.6.15	" 9.11.15
8	関 邦昭	平成10.7.1	" 12.3.15

■歴代収入役 (H12.12.1)

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	相原 誠三郎	昭和29.2.13	昭和30.10.17
2	佐藤 清司	" 30.10.18	" 42.12.19
3	浅野 興典	" 42.12.20	" 47.3.31
4	和田 正美	" 47.4.1	" 54.5.14
5	岩瀬 剛	" 54.7.1	" 62.5.14
6	吉田 庸二	" 62.6.15	平成11.6.14
7	五十嵐 義昭	平成11.6.15	在任中

■平成11年度一般会計歳入決算

歳 入

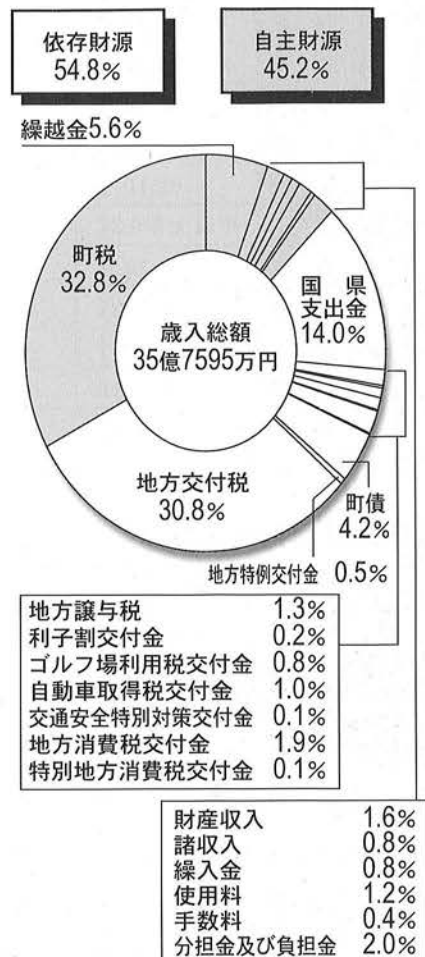
(単位:千円 %)

科目	平成11年度		平成10年度		比較		前年度増減率
	決算額①	構成比	決算額②	構成比	①-②	③/②	
1.町 税	1,172,844	32.8	1,165,276	33.9	7,568	0.6	▲7.0
2.地方譲与税	47,389	1.3	46,435	1.4	954	2.1	▲21.3
3.利子割交付金	5,780	0.2	5,673	0.2	107	1.9	▲20.6
4.地方消費税交付	69,253	1.9	74,124	2.2	▲4,871	▲6.6	302.4
5.特別地方消費税交付金	4,598	0.1	5,320	0.2	▲722	▲13.6	17.7
6.ゴルフ場利用税交付金	27,564	0.8	31,408	0.9	▲3,844	▲12.2	▲5.7
7.自動車取得税交付金	37,386	1.0	41,892	1.2	▲4,506	▲10.8	▲13.1
8.地方特例交付	18,311	0.5					皆増
9.地方交付税	1,101,661	30.8	1,093,108	31.8	8,553	0.8	8.3
内 普 通	990,761	27.7	991,478	28.9	▲717	▲0.1	7.6
内 特 別	110,900	3.1	101,630	3.0	9,270	9.1	15.5
10.交通安全特別対策交付金	1,912	0.1	1,922	0.1	▲10	▲0.5	1.4
11.分担金及び負	70,537	2.0	61,624	1.8	8,913	14.5	▲2.1
12.使 用 料	42,164	1.2	41,442	1.2	722	1.7	2.2
13.手 数 料	14,898	0.4	13,823	0.4	1,075	7.8	▲3.1
14.国庫支出金	310,772	8.7	197,476	5.8	113,296	57.4	▲14.8
15.県 支 出 金	188,177	5.3	165,622	4.8	22,555	13.6	1.0
16.財 産 収 入	56,015	1.6	21,989	0.6	34,026	154.7	▲55.6
17.寄 附 金	0	0.0	1,100	0.0	▲1,100	100.0	▲42.7
18.繰 入 金	31,601	0.9	26,078	0.8	5,523	21.2	1459.7
19.繰 越 金	198,498	5.6	244,181	7.1	▲45,683	▲18.7	▲0.5
20.諸 収 入	28,093	0.8	30,687	0.9	▲2,594	▲8.5	▲3.6
21.町 債	148,500	4.2	163,400	4.8	▲14,900	▲9.1	▲51.3
合 計	3,575,953	100.0	3,432,580	100.0	143,373	4.2	▲5.0

財 政

■平成11年度一般会計

歳入財源別構成比



■平成11年度 住民生活関連経費の状況

●教育費に係る
1人当たり(円)

<学校教育>
児童・生徒1人当たり
213,101円

<社会教育>
町民1人当たり 7,567円



●生活環境整備に係る
町民1人当たり(円)

13,810円


●健康維持、増進に係る
町民1人当たり(円)

19,018円



●福祉事業に係る
町民1人当たり(円)

62,357円



●道路整備等に係る
町民1人当たり(円)

33,977円



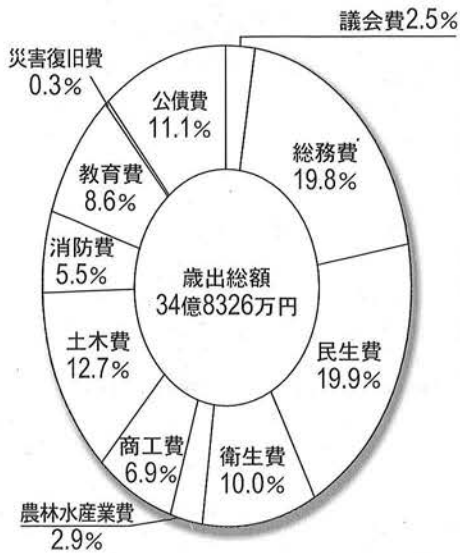
(滞納繰越金、国などから交付される
固定資産税を除く)

■町税負担状況の推移

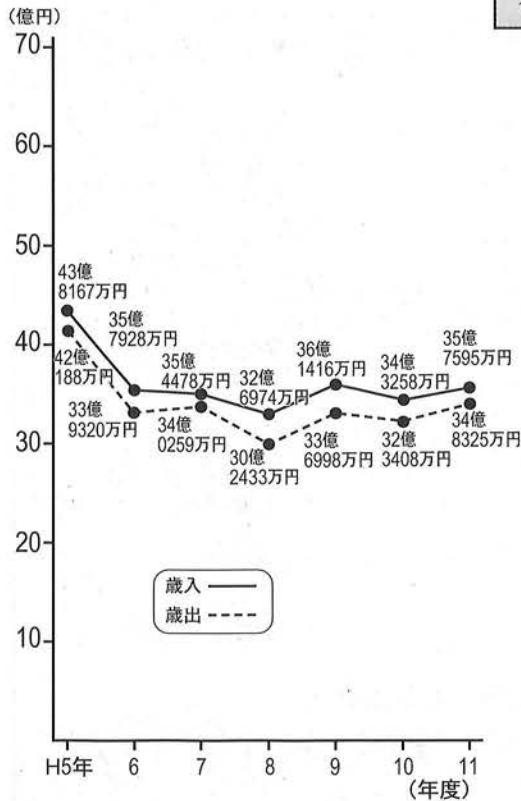
区分	町税総額 千円	一世帯当り 負担額 円	一人当り 負担額 円
45	57,725	26,962	6,892
50	187,905	83,886	21,920
55	398,434	165,218	45,823
60	613,882	246,242	72,537
平成2	903,012	336,317	108,365
7	1,182,192	403,464	139,752
8	1,275,097	433,559	152,378
9	1,290,690	429,943	153,800
10	1,228,690	400,747	147,254
11	1,252,421	411,710	149,901

■平成11年度一般会計

目的別歳出決算



■一般会計決算額の推移



■平成11年度一般会計歳出決算

(単位: 千円 %)

科目	平成11年度		平成10年度		比較		前年度増減率 (%)
	決算額①	構成比 (%)	決算額②	構成比 (%)	①-② ③	③/②	
1. 議会費	87,325	2.5	88,588	2.7	▲1,263	▲1.4	▲6.6
2. 総務費	689,516	19.8	685,032	21.2	4,484	0.7	5.3
3. 民生費	691,966	19.9	574,798	17.8	117,198	20.4	0.8
4. 衛生費	348,627	10.0	392,637	12.1	▲44,010	▲11.2	▲24.7
5. 農林水産業費	99,735	2.9	88,030	2.7	11,705	13.3	▲1.5
6. 商工費	241,855	6.9	190,861	5.9	50,994	26.7	11.0
7. 土木費	440,636	12.7	351,875	10.9	88,761	25.2	0.6
8. 消防費	190,578	5.5	191,422	5.9	▲844	▲0.4	6.4
9. 教育費	299,039	8.6	283,207	8.8	15,832	5.6	▲3.9
10. 災害復旧費	9,001	0.3	0	0.0	9,001	皆増	▲100.0
11. 公債費	384,948	11.1	387,632	12.0	▲2,684	▲0.7	2.2
合計	3,483,256	100.0	3,234,082	100.0	249,174	7.7	▲4.0

■性質別歳出

科目	平成11年度		平成10年度		比較	
	決算額①	構成比 (%)	決算額②	構成比 (%)	①-② ③	③/②
1. 消費的経費						
(1) 人件費	880,756	25.3	878,811	27.2	1,945	0.2
(2) 物件費	645,265	18.5	685,941	21.2	▲40,676	▲5.9
(3) 維持補修費	21,446	0.6	8,417	0.3	13,029	154.8
(4) 扶助費	170,902	4.9	146,804	4.5	24,098	16.4
(5) 補助費等	604,740	17.4	480,310	14.9	124,430	25.9
2. 投資的経費						
(1) 普通建設事業費	547,710	15.7	480,575	14.9	67,135	14.0
(2) 災害復旧事業費	9,001	0.3	0	0.0	9,001	皆増
3. 公債費	384,829	11.0	387,493	12.0	▲2,664	▲0.7
4. 繰出金	113,318	3.3	93,856	2.9	19,462	20.7
5. その他 (積立金等)	105,289	3.0	71,875	2.1	33,414	46.4
合計	3,483,256	100.0	3,234,082	100.0	249,174	7.7

■財政の変遷

(単位: 千円)

年度	当初予算額	決算			基準財政 需要額	基準財政 収入額	地方 交付税額	財政力指数
		歳入	歳出	差引残高				
4	6,402,248	6,477,940	6,334,892	143,048	1,787,485	969,759	942,084	0.523
5	4,052,000	4,381,667	4,201,878	179,789	2,017,532	1,038,088	1,059,961	0.530
6	3,338,000	3,579,279	3,393,203	186,076	1,956,160	993,790	1,041,161	0.522
7	3,160,000	3,544,779	3,402,589	142,190	1,894,741	1,030,544	936,052	0.522
8	2,965,000	3,269,740	3,024,326	245,414	1,956,958	1,101,691	942,423	0.563
9	3,017,000	3,614,159	3,369,978	244,181	2,064,783	1,141,199	1,009,686	0.553
10	3,030,000	3,432,580	3,234,082	198,498	2,115,575	1,145,229	1,093,108	0.541
11	3,173,000	3,575,953	3,483,256	92,697	2,099,893	1,108,030	1,101,661	0.541

■平成11年度会計別決算

(単位：円)

会 計	区 分	予 算 額	決 算 額
一 般 会 計	歳 入	3,629,018,650	3,575,953,025
	歳 出	3,629,018,650	3,483,256,384
国民健康保険特別会計	歳 入	803,365,000	831,213,126
	歳 出	803,365,000	747,297,886
老人保健特別会計	歳 入	1,130,258,000	1,096,382,564
	歳 出	1,130,258,000	1,079,389,157
総 合 計	歳 入	5,562,641,650	5,503,548,715
	歳 出	5,562,641,650	5,309,943,427

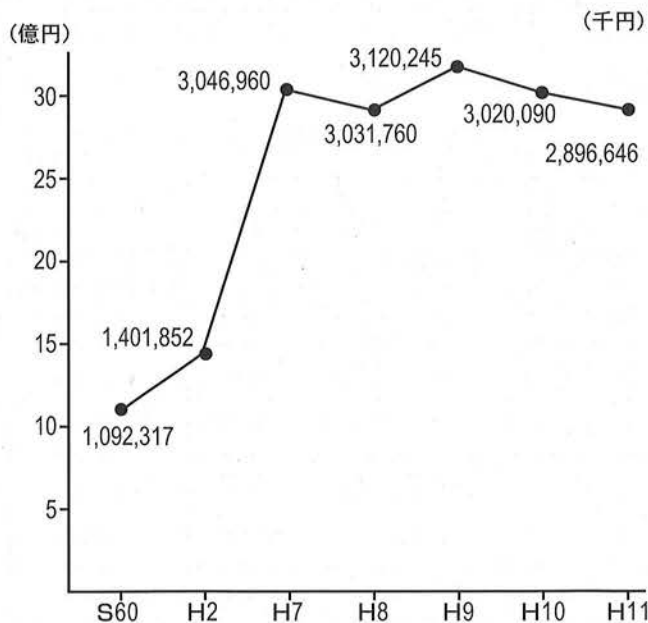
■水道事業会計決算

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に対する増 減
水道事業収益	184,762,000	196,239,328	△11,477,328
営業収益	171,714,000	177,477,848	△5,763,848
営業外収益	13,048,000	18,761,480	△5,713,480

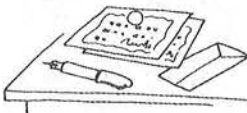
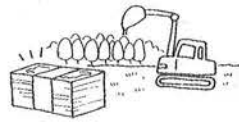

区 分	予 算 額	決 算 額	不用額
水道事業費用	250,783,000	226,337,351	24,445,649
営業費用	213,354,000	193,848,923	19,505,077
営業外費用	37,229,000	32,488,428	4,740,572
予備費	200,000	0	200,000

■町の借金



■町有財産

(H12.11.30)

土 地 792,946㎡	
建 物 35,333㎡	
出資による権利 3,956万円	
土地開発基金 預 金 2,520万円 預託金 3,980万円	
財政調整基金 1億6,703万円	
減債基金	4,744万円
地域福祉基金	3,083万円
開発基金	172万円
中山間ふるさと保全対策基金	725万円
介護保険円滑導入基金	5,650万円

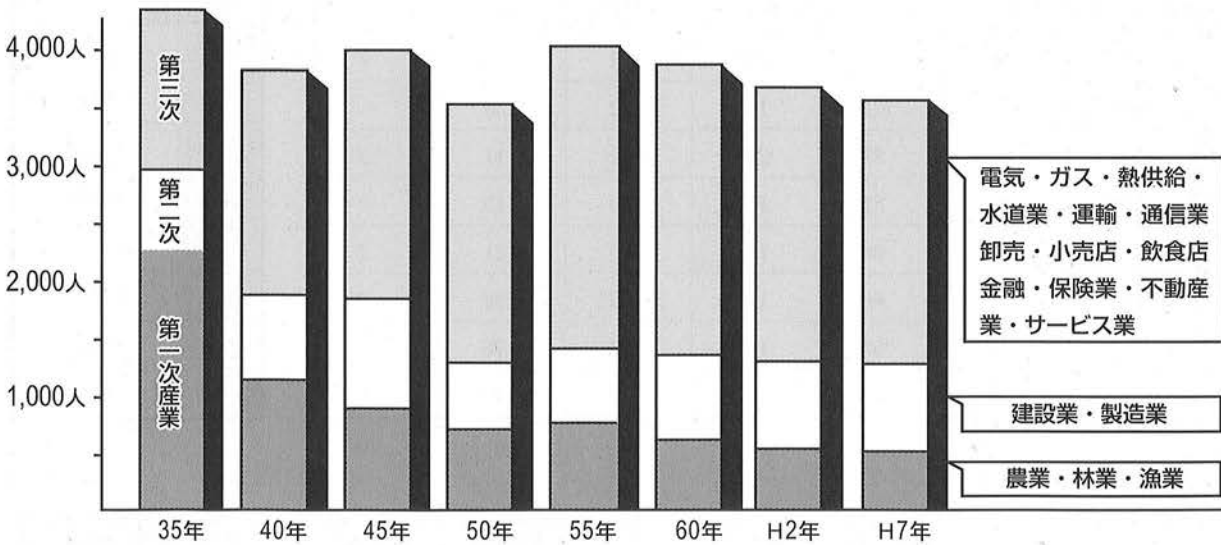


産業

■産業別就業者数

区分		年度別		40年		45年		50年		55年		60年		平成2年		平成7年	
		種別	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	
第1次産業	農業、林業、狩猟業 水産、養殖業	1,579	42.0	1,302	32.6	687	19.4	703	17.8	552	14.4	409	10.8	387	10.5		
第2次産業	鉱業、建設業、製造業	764	20.3	1,007	25.2	1,039	29.4	1,156	29.3	1,187	31.1	1,228	32.4	1,065	28.9		
第3次産業	卸小売、金融、保険業、その他	1,415	37.0	1,686	42.2	1,813	51.2	2,085	52.9	2,081	54.5	2,151	56.8	2,238	60.6		
計		3,758	100.0	3,995	100.0	3,539	100.0	3,944	100.0	3,820	100.0	3,788	100.0	3,693	100.0		

■産業別就業者数の推移



■所得者別 所得金額

(千円)

所得者区分	年次	6	7	8	9	10	11
給与所得者		7,646,823	7,733,194	7,618,646	7,669,702	7,758,262	7,663,497
営業所得者		513,848	492,309	488,243	439,912	459,446	386,544
農業所得者		9,518	23,402	5,579	11,998	5,743	1,180
その他事業所得者		400,022	450,289	349,887	372,536	333,938	365,098
その他の所得者		644,125	640,809	851,141	790,300	837,806	891,300
譲渡所得者		961,536	837,658	804,234	462,615	253,473	298,892
計		10,175,872	10,177,661	10,117,730	9,747,063	9,648,668	9,606,511

◎昭和40年度～平成7年度は、千葉県農業基本調査
◎平成11年度は、2000年世界農林業センサス



農業

■農家数の動き

(戸)

年 度	総 数	専 業	第1種兼業	第2種兼業
昭和 40	681	49	278	354
45	608	34	198	376
50	470	24	144	302
55	430	23	120	287
60	387	31	25	331
平成 2	340	31	16	293
7	322	32	10	280
11	256	31	12	213

■農業機械所有台数

(台)

年 度	動力耕うん機・トラクター	自脱型コンバイン	米乾 麦 用機	田 植 機
昭和55	478	113	322	210
60	501	164	311	254
平成 2	64 (乗用のみ)	200	263	247
7	83 (乗用のみ)	203	246	235
11	91 (乗用のみ)	159	161	169

■経営規模別農家数の動き

(戸)

年 度	総 数	30未満 (a)	30～50 (a)	50～100 (a)	100～150 (a)	150以上 (a)	例外規定
昭和 40	681	192	106	199	154	23	7
45	608	155	104	187	132	30	—
50	470	96	83	206	71	11	3
55	430	89	81	185	59	13	3
60	387	65	66	183	50	21	2
平成 2	340	39	69	146	56	28	2
7	322	46	57	133	58	26	2
11	256	60	53	99	26	16	2

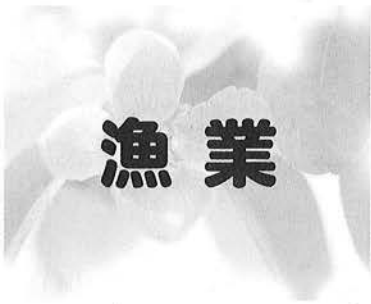
■水稻収穫面積

(単位：アール)

年 度	水 稻
昭和 40	32,835
45	28,108
50	22,549
55	19,930
60	19,357
平成 2	16,727
7	15,506
11	12,246

■農家の推移

年 度	農家数 (戸)	増 減		農 家 人 口 (戸)	増 減		一戸当 たり農 家人口 (人)	町 総 世帯数 (戸)	町 総 世帯に 対する 農家率 (%)	町 総 世帯に 対する 農家率 (%)	町 総 世帯に 対する 農家率 (%)	経 営 耕 地 面 積		
		数 (戸)	率 (%)		数 (人)	率 (%)						田 (ha)	畑 (ha)	その他 (ha)
40	681	▲ 64	▲ 8.6	3,459	▲560	▲ 13.9	5.1	2,067	32.9	8,815	39.2	355	91	3
45	608	▲ 73	▲ 10.7	2,882	▲577	▲ 16.7	4.7	2,136	28.5	8,475	34.0	341	70	7
50	470	▲138	▲ 22.7	2,204	▲678	▲ 23.5	4.7	2,263	20.8	8,484	26.0	247	46	7
55	430	▲ 40	▲ 8.5	1,941	▲263	▲ 11.9	4.5	2,432	17.7	8,486	22.9	234	51	5
60	387	▲ 43	▲ 10.0	1,667	▲274	▲ 14.1	4.3	2,473	15.6	8,468	19.7	226	51	6
2	340	▲ 47	▲ 12.1	1,413	▲254	▲ 15.2	4.2	2,679	12.7	8,337	16.9	217	60	4
7	322	▲ 18	▲ 5.9	1,310	▲103	▲ 7.3	4.1	2,659	12.1	8,129	16.1	208	37	4
11	256	▲ 66	▲ 20.5	1,021	▲289	▲ 22.1	4.0	2,833	9.0	8,020	12.7	139	22	3



漁業

■年次別組合水揚高

(単位：千円)

種 別	御 宿			岩 和 田		
	9 年	10 年	11 年	9 年	10 年	11 年
魚 類	135,299	140,045	110,564	491,894	398,816	341,910
貝 類	12,289	13,713	13,252	37,442	31,301	44,001
計	147,588	153,758	123,816	529,336	430,117	335,911

■漁港施設（平成11年）（港勢調査）

項 目		御 宿	岩 和 田
漁	けい船岸延長(m)	485	759
	外かく施設延長(m)	685	1,021
	最大入港トン数(t)	10	10
港	登録漁船隻数(隻)	57	121
	利用漁船隻数(隻)	58	133

■おもな魚種別水揚量（港勢調査）

(単位：トン)

魚 種 別	御 宿			岩 和 田		
	9 年	10 年	11 年	9 年	10 年	11 年
た い	10	3	13	1	2	1
わ ら さ	0	0	0	0	0	0
ひ ら め	3	4	3	28	25	20
ぶ り	0	0	0	176	150	59
い か	54	27	31	113	73	77
か つ お	106	79	70	253	182	215
ま ぐ ろ	0	15	2	35	27	18
あ わ び	1	1	1	4	4	5
さ ざ え	4	5	3	3	3	2
す ず き	1	2	2	2	7	4
と び う お	8	4	3	9	7	7
雑 魚	20	16	14	11	27	22
え び	2	3	2	8	9	6
計	211	159	144	643	516	436

■漁業協同組合の状況（港勢調査）（H12.3現在）

組合名	御 宿		岩 和 田	
	平成11年	平成12年	平成11年	平成12年
正組合員	91	88	401	391
準組合員	66	66	42	48
合 計	157	154	443	439

■漁業種別水揚量（港勢調査）

(単位：トン)

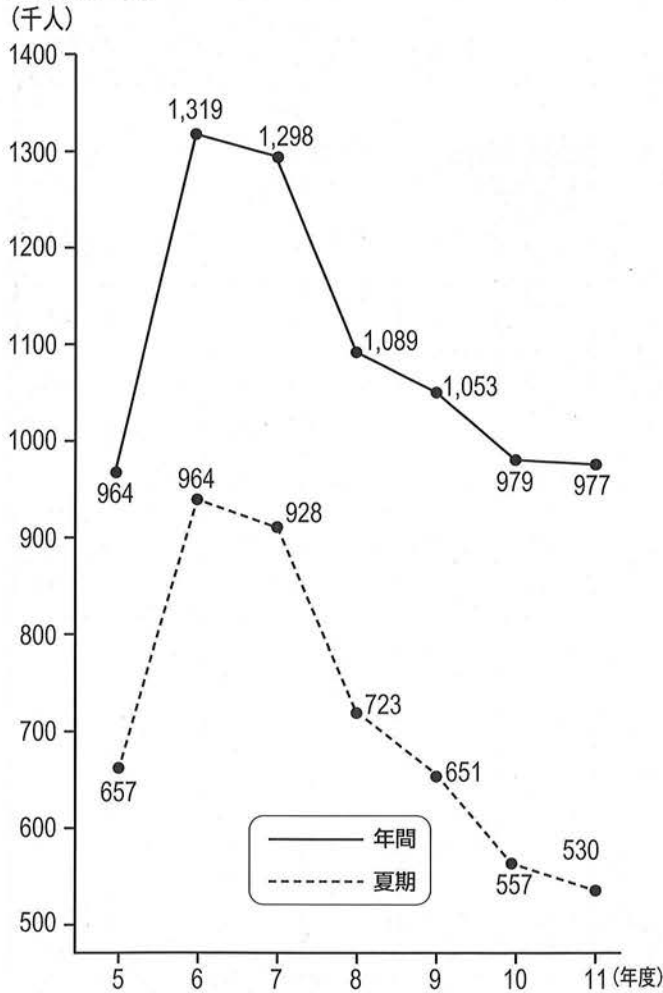
種 類	御 宿			岩 和 田		
	9 年	10 年	11 年	9 年	10 年	11 年
ま き 網	0	0	0	0	0	0
刺 網	12	3	4	185	133	67
い か 釣	54	27	31	113	73	77
その他の釣	137	119	105	338	303	285
採 貝	5	5	4	7	7	7
採 藻	0	0	0	0	0	0
その他の漁業	3	0	0	0	0	0
総 計	211	159	144	643	516	436



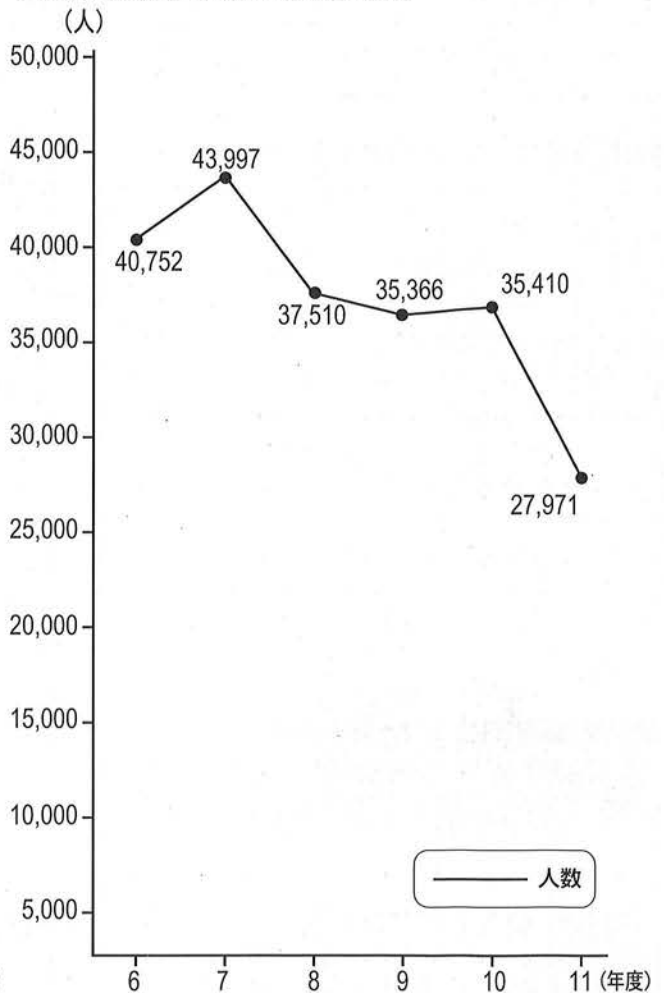
観光

(H11.4.1)

■観光客数



■月の沙漠記念館の入場者数



■観光施設等入込数

区 分	年 度	昭 和				平 成			
		45 年	50 年	55 年	60 年	8 年	9 年	10 年	11 年
観光客数 (人)	夏期	1,120,000	1,160,000	905,000	1,406,000	723,200	651,000	557,850	530,850
	年間	1,310,000	311,000	1,041,000	1,659,000	1,089,000	1,053,000	979,000	977,000
旅 館 (軒)		20	21	17	17	21	22	22	22
民 宿 (軒)		200	250	270	244	194	185	170	165
海 の 家 (軒)		33	32	32	31	26	23	23	22
駐 車 台 数 (有 料)		12,512	15,151	18,018	31,346	33,730	31,415	25,006	20,596
観光収入 (推計千円)		369,000	942,480	1,850,805	3,686,808	3,609,250	3,530,400	3,330,850	3,149,000
町の観光投入額 (千円)		56,000	12,504	20,968	30,434	52,097	87,638	78,053	100,552



商工業

■工業(製造業)の状況 (工業統計調査)

年	事業所数	従業者数	年間製造品 出荷額
昭和60	35 戸	489 人	百万円 2,259
平成2	28	376	2,054
7	22	214	1,446
11	18	181	1,988

■商業の状況 (平成9年商業統計調査)

産業中分類	項目	商店数	従業者数	年間商品 販売額	売場面積
卸売業計		9 店	42 人	百万円 1,344	- m ²
繊維、衣服、身の 回り品小売業		11	38	362	1,164
飲食料品小売業		52	192	3,397	2,651
自動車、自転車、 小売業		4	12	96	197
家具、建具、じゅ う器小売業		13	36	386	546
その他小売業		36	164	2,395	1,587
小売業計		116	442	6,636	6,145
計		125	484	7,980	6,145

交通

■自動車保有台数

車種	御宿町
普通乗用車	784
小型乗用車	1,800
貨物自動車	221
貨客兼用車	158
バス	12
軽自動車 (4輪)	1,407
特殊用途車	29
計	4,411

■交通事故発生件数の推移

年	区分	発生件数	死者数	負傷者数
4		56	0	84
5		56	3	76
6		44	1	78
7		30	3	46
8		37	0	45
9		35	0	50
10		41	2	51
11		38	0	51

建設

(H12.4.1)

■建築届出件数の推移

年	区分 専用住宅	旅館店舗 簡易宿泊所	共同住宅	併用住宅	工場 倉庫	その他	計
2	153	7	0	11	5	12	188
3	176	8	3	4	1	12	204
4	91	7	0	15	5	9	127
5	68	3	0	9	4	4	88
6	99	3	1	2	2	10	117
7	90	3	2	1	2	6	104
8	102	2	2	1	5	5	117
9	76	4	3	2	4	3	92
10	70	1	4	1	0	6	82
11	89	1	0	1	1	6	98

■林道の状況

項目		本数	数値
林業施設	林道延長(m)	市町村	13
		国	—
		その他	—
		計	13
			12,378m

■町道の内訳

項目		数値
道	実延長 (m)	253,304
	路面面積 (㎡)	828,336
	改良済延長 (m)	76,463
	舗装済延長 (m)	96,025
	自動車交通不能道延長(m)	127,188
	歩道設置延長 (m)	9,222
	防護柵延長 (m)	7,191
	歩道橋 (m)	2カ所 27
	市町村道と鉄道との 交差箇所数	7
	うち立体 交差箇所数	5

実延長 の内訳	1.5m～5.5m (m)	234,022
	5.5m以上 (m)	19,282
	計	253,304

■道路の状況

		単位	町道	県道	国道	計		
路実	線延長	本	1,460	4	1	1,466		
		m	253,153	11,233	3,939	268,476		
内訳	改良済延長	m	76,526	11,203	3,939	91,605		
		m	176,627	30	—	176,871		
種別内	橋梁延長	m	91カ所 541	8カ所 117	1カ所 14	669		
		m	8カ所 438	1カ所 11	5カ所 351	775		
幅員別内	改良済	13m以上	m	34	11	—	45	
		5.5m以上	m	19,426	8,254	3,717	31,219	
		5.5m未満	m	57,066	2,939	222	60,342	
	未改良	m	—	—	—	—		
内	改良	3.5m以上	m	—	—	—		
		3.5m未満	m	176,627	30	—	176,871	
自動車交通不能		m	127,135	—	—	127,188		
路面別内	未舗装道		m	149,181	—	—	157,279	
	舗装道	セメント系	m	4,425	85	351	4,901	
		アスファルト系	高級	m	—	7,892	3,588	11,480
			簡易	m	91,841	3,257	—	99,817
		計		m	96,434	11,234	3,939	111,198



■消火栓の設置場所

No.	消火栓所在地	地区	No.	消火栓所在地	地区	No.	消火栓所在地	地区
1	鶴岡 実	須賀	39	松崎 勤(太子堂面)	久保	77	専修大学セミナーハウス	岩和田
2	伊藤 治助	"	40	スナック樹里入口	"	78	木原 政吉	"
3	神定 建設倉庫	"	41	B&G海洋センター	"	79	波月 荘入口	"
4	本吉 勇	"	42	遠藤 智子	"	80	吉田 征夫	七本
5	佐伯 進	"	43	ウエムラカメラ	"	81	吉野 茂男	"
6	渡辺 治男	"	44	秋葉 正雄	新町	82	吉田 要	"
7	須賀三ッ角	"	45	滝口 松蔵	"	83	君塚 芳男	実谷
8	滝口 清次郎	"	46	伊藤 勘助	"	84	君塚 俊成	"
9	日高 五郎	"	47	新井 勝	"	85	実谷上 公会堂	"
10	中央海岸駐車場料金所	"	48	鶴岡 石材店	"	86	吉野 茂夫	"
11	三上 信雄	"	49	水谷 印刷	"	87	君塚 静男	"
12	露崎 英三	"	50	理容 つばき	"	88	吉野 栄	"
13	鶴岡 國雄	"	51	熊谷喜六(天の守)	"	89	吉野 竹芳	"
14	須賀多目的広場裏	"	52	岩瀬 蘭科	"	90	吉野 こう	"
15	日旗 神社前	"	53	鈴木 巖	"	91	吉野 健夫	"
16	元湯 温泉	浜	54	井上 邦彦	"	92	石井 芳清	上布施
17	式田 みつ	"	55	松下 弘秀	六軒町	93	吉野 進一	"
18	大谷 福蔵	"	56	幸保 常次	"	94	元大地 病院	"
19	渡辺 松一	"	57	板垣 雅則	"	95	三輪篤子(グリーンランド)	"
20	松本 君江	"	58	鈴木 輝一	"	96	布施 駐在所	"
21	米本良司海岸店	"	59	金井 三男	"	97	布施 小学校	"
22	浜海岸案内所	"	60	清水 禮司	"	98	吉野 泰成	"
23	はまや 商店	"	61	六軒町 補生堂	"	99	石井 勇	"
24	浜天王 台	"	62	立石 明男	"	100	石井 博一	"
25	小池 春夫 入口	高山田	63	堺川生活排水処理施設	"	101	井上 儀一	"
26	嶋田 利定	"	64	埋田 勝弘	岩和田	102	石井 惣次	"
27	高山田区民館入口	"	65	藤井 昭	"	103	佐藤 良雄	"
28	峰岸 俊長	"	66	岩井 敏夫	"	104	吉野 菊彦	"
29	鈴木 祐雄	"	67	小川 征	"	105	佐藤 テルエ	"
30	岩瀬 信泰	"	68	畑中 いち	"	106	新井 久栄	"
31	君塚 磐雄	久保	69	水上 定雄	"	107	佐藤 勝巳	"
32	大地 寿美子	"	70	入宿町内 宿	"	108	新井 隆	"
33	御宿 保育所前	"	71	大野 元芳	"	109	佐藤 一男	"
34	天津 英男	"	72	水野 八郎	"	110	大地 和美	"
35	白鳥 重和	"	73	高梨 孝	"	111	佐藤 高二	"
36	御宿中踏切寄道路	"	74	氏原 忠	"	112	渡辺 洋一	"
37	齊藤利夫(南畑田)	"	75	嶋村 敏夫	"			
38	オタフク 綿	"	76	江沢 利一	"			

防災

■消防の施設状況

(H11.1.10)

消防ポンプ車	7台	防火水そう	85カ所
水そう付ポンプ車	1台	消火栓	112カ台
小型ポンプ車	2台	防災無線戸別受信機	2,069世帯
指揮広報車	1台	" 固定系システム	27カ台

■消防団

団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
1	3	15	8	9	43	166	245

■火災発生件数

年次	火災件数				火災件数 (㎡)			損害額 (千円)
	総数	建物	山原	林野	その他	建物	山林その他	
8	1	0	0	0	1	0	0	0
9	4	0	0	2	2	0	300	0
10	4	1	0	0	3	0	0	0
11	6	3	0	0	3	114	600	4,706

■災害時の避難場所

年次	所在地	電話
御宿 小学校	久保2085	68-2009
御宿 中学校	新町68	68-2101
岩和田 小学校	岩和田1075	68-2254
岩和田 青年館	岩和田788	68-4392
サンドスキー場 (一時避難場所)	岩和田1354	
布施 小学校	上布施909	68-2437
実谷 区民館	実谷586	68-5970
八坂 神社 (一時避難場所)	須賀525	
御宿 高校	久保1551	68-2911
B&G海洋センター 体育館	久保1135	68-4143



保 健

■胸部検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
9	2,594	1,525	58.8%
10	2,545	1,495	58.7%
11	2,676	1,558	58.2%
12	2,661	1,558	58.5%

■胃がん検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
9	1,629	622	38.2%
10	1,558	696	44.7%
11	1,620	593	36.6%
12	1,702	825	48.5%

■子宮がん検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
9	1,690	360	21.3%
10	1,641	339	20.7%
11	1,695	339	20.0%
12	1,010	466	46.1%

■基本健康診査受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
9	1,358	623	45.9%
10	1,309	672	51.3%
11	1,389	576	41.5%
12	1,659	902	54.4%

■乳がん検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
9	1,771	389	22.0%
10	1,721	383	22.3%
11	1,756	370	21.1%
12	1,078	514	47.7%

■大腸がん検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受診率
9	1,363	972	71.3%
10	1,400	979	69.9%
11	1,554	920	59.2%
12	1,667	1,113	66.8%

国保・年金・老保

■国民健康保険加入者及び給付金状況

種別 年度	世帯数	加入者数(人)				医療費(町支弁額)(千円)			
		一 般	退 職	国保老人	合 計	一 般	退 職	国保老人	合 計
8	1,939	2,615	449	1,156	4,220	300,041	102,792	578,167	981,000
9	1,994	2,572	432	1,235	4,239	300,260	108,415	639,398	1,048,073
10	2,056	2,523	460	1,339	4,322	307,706	115,711	705,752	1,129,169
11	2,143	2,577	468	1,380	4,425	317,400	95,189	790,719	1,203,308

■国民年金受給者の状況

種 別	平成10年度		平成11年度	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
老 齢 基 礎 年 金	1,117	688,856	1,211	758,961
障 害 基 礎 年 金	37	31,180	43	36,391
裁 定 替 障 害 福 祉 年 金	70	66,159	69	65,344
遺 族 基 礎 年 金	20	15,212	32	24,359
寡 婦 年 金	11	5,614	10	5,216
老 齢 年 金	797	347,436	751	330,619
通 算 老 齢 年 金	194	43,408	185	42,307
旧 国 民 年 金 障 害 保 険	29	27,383	28	26,540
合 計	2,275	1,225,248	2,329	1,289,736
福 祉 年 金	53	13,741	37	10,013

■老人保健加入者及び給付金状況

年 度	加入者数(人)	医療費(町支弁額)(千円)
8	1,575	793,643
9	1,668	893,902
10	1,751	953,714
11	1,800	1,057,593

■ゴミ収集状況 (廃棄物実態調査)

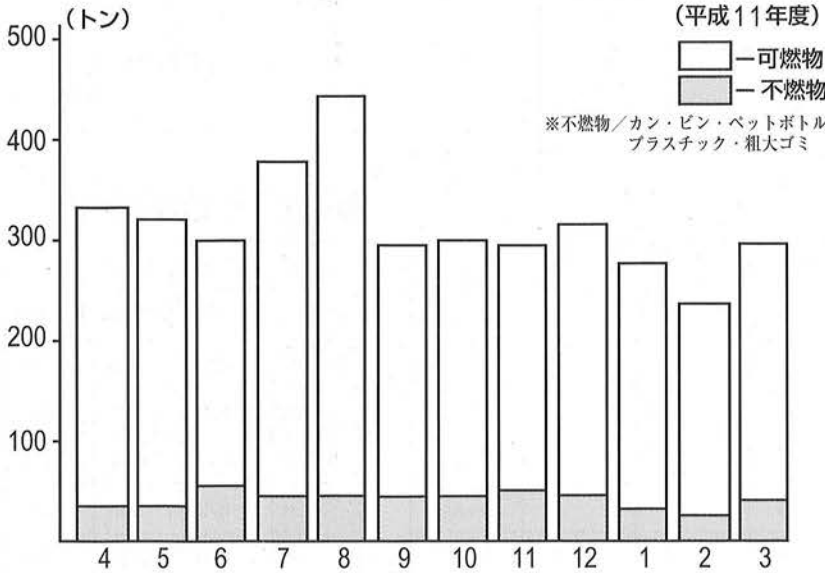
(トン)

年度	可燃物	不燃物	合計	焼却日数
8	3,748	786	4,534	171
9	3,812	618	4,430	179
10	4,058	568	4,626	187
11	3,824	502	4,326	177



環境

■月別ゴミ収集量



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
可燃物	333	326	308	378	448	294	302	297	316	279	248	295
不燃物	30	29	60	40	46	43	46	57	43	36	29	43

【月別ゴミ収集量】※可燃物3,824t + 不燃物502t = 11年度合計廃棄物 4,326t (焼却日数/177日)

■し尿

	平成10年	平成11年
1. 処理計画人口 (人)	8,387	8,344
①非水洗化人口 (人)	2,999	2,879
(イ)計画収集人口 (人)	2,932	2,816
(ロ)自家処理人口 (人)	67	63
②水洗化人口 (浄化槽人口) (人)	5,388	5,465
2. し尿収集の状況 (kl)	4,090	4,183
①し尿 (kl)	1,893	1,859
②浄化槽汚泥 (kl)	2,197	2,324
収集職員数 (人)	3	3
パキューム車 (人)	1	1

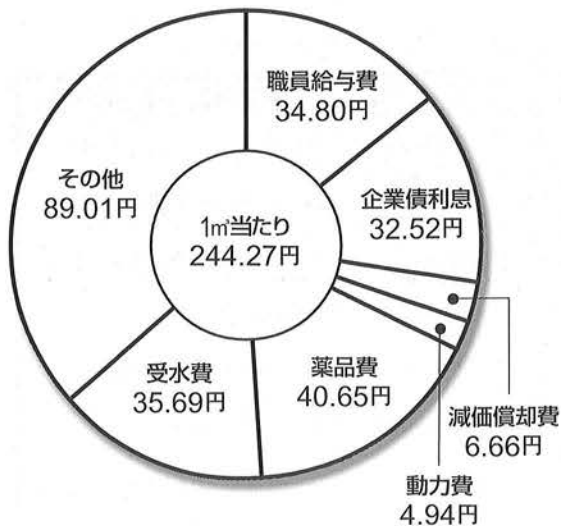


上水道

■水道ダイジェスト

(平成11年度決算から)

区分	単位	11年度	10年度	増△減
年度末給水人口	人	7,074	6,965	109
年度末給水戸数	戸	3,170	3,087	83
年間取水量	m ³	1,108,365	1,097,418	10,947
年間受水量	m ³	177,404	110,903	66,501
年間給水量	m ³	1,007,242	906,642	100,600
年間使用量	m ³	906,441	870,799	35,642
1ヵ月平均給水量	m ³	83,937	75,554	8,383
1ヵ月平均使用量	m ³	75,537	72,567	2,970
1日最大給水量	m ³	5,307	5,257	50
1戸1ヵ月平均使用量	m ³	23.8	23.5	0.3
1人1日平均使用量	ℓ	351	343	8
月平均給水収益	千円	14,063	13,555	508
月平均人件費	千円	2,672	2,874	△202
月平均収入額	千円	15,651	15,121	530
月平均支出額	千円	18,452	17,545	907
月平均電力料金	円	503,132	487,479	15,653
月平均薬品費	円	373,332	358,288	15,044
月平均支払利息	円	2,456,686	2,505,580	△48,894
月平均償還元費	円	2,027,011	1,897,738	129,273
給水原価	円・銭	244.27	239.07	5.20
資本費	円・銭	159.75	141.55	18.20
施設利用率	%	45.24	40.72	4.52



■1m³の水をつくる費用構成

■町立小・中学校の児童・生徒・教職員数

学校名	児童生徒数	学級数	職員数	事務 栄養職員	調理員
御宿中	202	7	18	1	2
御宿小	228	11	17	2	3
岩和田小	75	7	12	1	
布施小	89	6	11	1	
計	594	31	58	5	5



<学校基本調査による>
(H12.5.1)

■中学校卒業生進路状況

卒業年	高校進学		就職		各種学校		計
	進学者数	%	就業者数	%	人数	%	
昭和 55	124	87	11	8	7	5	142
60	117	97	2	2	1	1	120
平成 2	109	93	8	7	-	-	117
7	113	100	0	0	0	0	113
8	89	100	0	0	0	0	89
9	81	99	1	1	0	0	82
10	68	96	1	1	2	3	71
11	87	98	1	1	1	1	89

■児童・生徒数の推移

区分 年度	児童生徒数		
	総数	小学校	中学校
昭和50	1,220	848	372
60	1,155	773	382
平成 2	954	597	357
8	672	449	243
9	670	427	243
10	638	404	234
11	635	398	237

■社会教育施設利用状況

年度	公民館		資料館		海洋センター体育館		同 プ ール		パークゴルフ場	
	一 日 平 均	年 間 利用者数	一 日 平 均	年 間 利用者数	一 日 平 均	年 間 利用者数	一 日 平 均	年 間 利用者数	一 日 平 均	年 間 利用者数
7	100.2	29,667	10.0	2,947	97.5	28,667	99.4	5,763		
8	71.5	21,175	12.3	3,565	101.4	29,838	90.2	5,326		
9	89.8	26,656	12.3	3,663	122.8	36,583	87.1	4,968		
10	91.1	26,678	15.3	4,440	106.4	31,923	86.2	5,523	26.9	8,422
11	85.5	25,567	11.5	3,418	97.5	28,785	77.3	5,253	25.8	8,145

■文 化

名 称	所在地	施 設・内 容
公 民 館	久保2200	調理実習室、和室、茶室、大ホール、大・中会議室、クラブ集会室 絵画工作室、視聴覚室、図書室(蔵書約8,600冊)
歴 史 民 俗 資 料 館	久保2200	(御宿と人) (御宿とくらし) (御宿と教え)のコーナー 展示300展、五倫文庫、70カ国の教科書32,500冊
月 の 沙 漠 記 念 館	六軒町 505-1	1F 企画展示室 2F 加藤まさを展示室 映像展示室 野外ステージ

■スポーツ

名 称	所 在 地	施 設・内 容
町 営 野 球 場	久保1135-1	野球場、テニスコート3面
ゲートボール場	"	ゲートボール場2面
須賀多目的広場	須賀514-1	ゲートボール、ソフトボールなど
海 洋 セ ン タ ー	久保1135-1	体育館、会議室
海 洋 セ ン タ ー プ ー ル	"	25mプール1、幼児用1
御 宿 台 公 園 テ ニ ス 場	御宿台29番1	テニスコート6面
町 営 ウ ォ ー タ ー パ ー ク	須賀2208	プール、スライダー
御 宿 パ ー ク ゴ ル フ ガ ー デ ン	御宿台805番804	パークゴルフ場18ホール

指定文化財

姉妹都市

【姉妹都市】
アカプルコ市（メキシコ）
昭和53年8月姉妹都市協定締結

【姉妹都市】
野沢温泉村（長野県）
平成9年2月姉妹都市協定締結

【姉妹館】
御宿町歴史民俗資料館
ポウボウアタマ博物館（ドイツ・フランクフルト市）
平成3年11月姉妹館提携締結

区分	番号	名 称	所在地・指定地・伝承地	所有者又は伝承地	指定年月日
国指定	1	ミヤコタナゴ	御宿町	御宿町	昭和49年
県指定	1	ドン・ロドリゴ上陸地	御宿町岩和田626	御宿町	昭和41.12.2
"	2	紙本著色大田喜藩陣列之図	" 久保2,200	御宿町	" 61.1.14
町指定	1	ドン・ロドリゴ関係遺品	" 久保1,916	岩瀬禎之	" 49.3.27
"	2	木造阿弥陀如来坐像	" 浜572-1	妙音寺	" 49.3.27
"	3	亀甲地双鶴鏡	" "	"	" "
"	4	白銅鏡	" "	"	" "
"	5	木造大日如来坐像	" 上布施1,474	真常寺	" "
"	6	木造如意輪観音坐像	" "	"	" "
"	7	十王堂縁起	" 六軒町	十王堂	" "
"	8	最明寺夫婦銀杏	" 須賀668	最明寺	" 53.3.27
"	9	旧役場大蘇鉄	" " 160	御宿町	" "
"	10	双盤	" " 668	最明寺	" 54.6.27
"	11	小幡神楽囃子	" 上布施区小幡	保存会	" 57.6.29
"	12	高山田神楽囃子	" 高山田区	"	" 57.9.28
"	13	千人塚供養塔	" 新町字千人塚	妙昌寺	" 59.1.11
"	14	閻魔胎内像・十王像	" 六軒町	十王堂	" "
"	15	伊勢参宮絵馬	" 上布施	八幡神社	" "
"	16	真常寺石塔	" 上布施1,474	真常寺	" "
"	17	木造阿弥陀如来及び両脇侍立像	" 六軒町	十王堂	" 60.2.12
"	18	木造阿弥陀如来坐像	" 浜618-1	観音寺	" "
"	19	木造傳祐上人坐像	" 須賀668	最明寺	" "
"	20	旧布施村絵図	" 実谷	実谷区	" 62.2.19
"	21	千箇寺参御首題帳	" 上布施1,800	吉野信	" "
"	22	孝女竹永志保の碑	" 上布施827	上布施区新宿	" 62.10.27
"	23	月夜見神社の宝塔	" 久保2,200	三夜様	平成4.1.30
"	24	貝海女具一式	" 久保2,200	御宿町	" 5.2.25
"	25	ハワイ出稼ぎ渡航関係	" 上布施3,280	吉田剛	" 5.2.25
"	26	八坂神社旧御輿廻り飾り	" 実谷	実谷区	" 7.5.25
"	27	久保区行屋跡の宝塔	" 久保2,200	久保区	" 7.5.25
"	28	薬師堂の摩崖佛	" 岩和田	宝蔵寺	" 8.2.26
"	29	堂坂薬師の磨崖佛	" 浜堂ノ上	浜区岩ヶ山	" 9.1.27
"	30	堂坂薬師手洗い鉢	" 浜堂ノ上	"	" 9.1.27
"	31	獅子頭、象鼻（波の伊八）	" 須賀668	最明寺	" 9.1.27

御宿町暮らしのダイジェスト

(H12.12.1)

人口密度



1km²に322人

家 族



1世帯に2.66人

転 入



1日に1人

転 出



1.1日1人

結 婚



15.8日に1組

離 婚



36.5日に1組

出 生



7日に1人

死 亡



2.7日に1人

火 災



6件

交通事故



9.6日に1件

水道使用量



1人1日平均351ℓ

ゴ ミ



1日平均1.27トン

町 職 員



町民70人に1人

教 員



小学生10人に1人
中学生11人に1人
(12年5月1日現在)

商 店



25世帯に1店

町 税



1人当たりの負担
149,901円

自 動 車



1世帯に1.45台

子どもの数



4.15世帯に1人

救急車出動



1.07日に1件

町の台所



一般会計からの支出額
町民1人当たり418,158円

御宿の歌

御宿ブルース

作詩 古谷玲児
作曲 八州秀章
唄 二すずらん姉妹

一、あだし人魚よ 七尋八尋
姿いとしや 紺がすり

忘れられよか 忘れてなるか
夢の御宿 海女の町 海女の町

二、星の数ほど 寄せては返す
色もとどり 人の波

光る砂浜 きらめく渚
夢の御宿 海の町 海の町

三、月のあかりの 二人の胸に
乱れ咲く花 月見草

行こか砂丘へ 戻るか宿へ
夢の御宿 恋の町 恋の町

回想譜

作詩 今城靖児 / 編曲 佐伯亮
唄 藤山一郎

一、星みれば はるかに杳く
雲みれば つきせぬ想い

去りゆきし 君に詰わねど
御宿の ああ 海の恋しさ

二、風吹けば 風もさびしや
虫鳴けば 虫もわびしや

ただひとり 山荘にあれば
堪えがたく ああ 涙ながるる

三、朝には あしたの祈り
夕には ゆうへの願い

嫁ぎゆく 妹にのみ
いまはただ ああ 幸をこつのみ

房州御宿音頭

作詩 石川澤月
作曲 藤井凡大

房州 御宿宝の庫よ
 Hanson リヤ ドウシタ

海に銀鱗 海に銀鱗 田に黄金
 Hanson リヤ ヤッサイ

ヤッサイ ドントネ

房州御宿 網代の浜は
銀の砂浜 銀の砂浜 金の浜

潮を黒潮 流れて巻いて
風は汐風 風は汐風 恋の風

あんな男を梶子にもって
ぬれて苦労が ぬれて苦労が

お前や水底 わしや風の中
つなは一筋 つなは一筋 血が通う

板子一枚いといはせぬが
ぬれるお前が ぬれるお前が

房州御宿旅立つ朝は
雨も降らぬに 雨も降らぬに

舟は帆まかせ 帆は風まかせ
わたしゃお前の わたしゃ

お前のつなまかせ

御宿離し

作詩・作曲 加藤まさを
編曲 吉野達弥
唄 中里このえ

一、ドンとドンとドンと男波が踊る
踊る男波に抱かれて歌う

女波いとしや月夜の晩は
御宿離して浮かれ出す

二、山にや名物メキシコタワー
浜の砂丘にや王子と姫が

月の沙漠を揺られて越える
対の駱駝の旅姿

三、磯の華がよ岩和田の海女は
浮いて沈んで浮いて

浪がドンと来りや乳房が揺れる
誰が住むやらあの胸に

四、昼は砂丘に浜昼顔が
夜は砂丘に宵待草が

粋な浜風花から花に
若い二人の燃える頬に

五、椰子の葉蔭で佳い夢見たよ
野暮なトウロク 磯ハン無し

可愛い人魚が蠟燭岩で
忘れちゃおえねえ また来てね

御宿のうた

：晴れた日は
作詩・作曲 真木順子

一、晴れた日は 海へ行こう
白い砂浜がつづく

ほくたちに ほほえむよ
風もキラキラキラ

きれいな町だよ 御宿は
月の沙漠の町 御宿は

二、雨の日は 耳をすまそう
波の音が聞こえるよ

母さんの子守唄 トロトロ
ねむりたい

やさしい町だよ 御宿は
月の沙漠の町 御宿は

三、言葉には ならないけど
胸の奥がしずむ時

メキシコの丘に立てば
心がなごむ

あたたかい町だよ 御宿は
月の沙漠の町 御宿は

四、月の夜は 海をみつめ
君は何を想うの

背に乗って歩きたいね
ラクダにゆらゆらと

夢のある町だね 御宿は
月の沙漠の町 御宿は



月の沙漠

作詩 加藤まさを
作曲 佐々木すくる

- 一、月の沙漠を はるばると
旅のらくだが 行きました
金と銀との くらおいて
二つならんで 行きました
- 二、金のくらはは 銀のかめ
銀のくらはは 金のかめ
二つのかめは それぞれに
ひもでむすんで ありました
- 三、先のくらはは 王子さま
あとのくらはは お姫さま
乗ったふたりは おそろいの
白い上衣を 着てました
- 四、広い沙漠を ひとすしに
ふたりはとごへ 行くのでしよう
おほろにけふる 月の夜を
ついのらくたば とほとほと
砂丘を越えて 行きました
だまって越えて 行きました

役場関係	〒299-5192 市外局番0470	
御宿町役場	須賀1522	☎(68)2511
公民館	久保2200	☎(68)2947
歴史民俗資料館	"	☎(68)4311
月の沙漠記念館	六軒町505-1	☎(68)6389
御宿町児童館	新町419	☎(68)4542
岩和田児童館	岩和田788	☎(68)4392
社会福祉協議会	久保1135-1	☎(68)6725
地域福祉センター	"	☎(68)6725
海洋センター	"	☎(68)4143
清掃センター	久保1041	☎(68)4613
浄水場	実谷519	☎(68)4855
町営運動場(管理棟)	久保1135	☎(68)4794
御宿台公園テニスコート	御宿台52	☎(68)6959
御宿パークゴルフガーデン	御宿台805-804	☎(68)4148
町営ウォーターパーク	須賀2208	☎(68)3923
学校施設		
教育委員会	須賀1522	☎(68)2511
御宿保育所	久保2180	☎(68)2459
岩和田保育園	岩和田926	☎(68)2944
御宿小学校	久保2085	☎(68)2009
岩和田小学校	岩和田1703	☎(68)2254
布施小学校	上布施909	☎(68)2437

御宿中学校	新町68	☎(68)2101
県立御宿高等学校	久保1511	☎(68)2911
警察		
駅前駐在所	須賀188	☎(68)2100
六軒町駐在所	六軒町488	☎(68)2719
布施駐在所	上布施860-3	☎(68)4499
その他		
御宿駅	須賀191	☎(68)2053
御宿郵便局	須賀449	☎(68)2871
布施郵便局	上布施1400	☎(68)2870
御宿町漁業協同組合	浜2164	☎(68)2611
岩和田漁業協同組合	岩和田945	☎(68)2011
夷隅中央農協御宿支所	須賀167	☎(68)2424
運輸省御宿航空標識所	岩和田1171-3	☎(68)3923
御宿町観光協会	須賀1522	☎(68)2414
御宿町体育協会	久保2200	☎(68)2947
御宿町商工会	新町417-22	☎(68)2818
御宿町商店振興会	"	☎(68)2818
御宿町民宿組合	須賀191	☎(68)2325
御宿町旅館組合	"	☎(68)4419